

○摂南大学学則

昭和50年1月10日

学園106

改正 2025年3月18日

第1章 総則

(目的)

第1条 摂南大学(以下「本大学」という)は、時代と地域の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教育研究するとともに、人間力と実践的能力をもち、多様な人々と協働して社会に貢献できる人材を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上をはかることを目的とする。

第2章 組織

(学部、学科および教育研究上の目的)

第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
理工学部	生命科学科 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子情報工学科 都市環境工学科
国際学部	国際学科
経営学部	経営学科
薬学部	薬学科
法学部	法律学科
経済学部	経済学科
看護学部	看護学科
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科 食農ビジネス学科
現代社会学部	現代社会学科

- 2 理工学部生命科学科は、バイオに関する高度な知識と技術を持ち、生命機構の真理を追究する能力と人類の健康および自然環境との共生を実現するための実践的な技術を身につけ、医療・食品・環境に関する分野で活躍できる人材を養成することを目的とする。
- 3 理工学部住環境デザイン学科は、住宅や身の回りの生活を取り巻く多様なデザイン領域に関する知識と技術を修得し、地球環境を含めた広範な人間の住環境に存在する様々な問題点を的確に捉える能力を養う。さらに、これらの問題点の解決方法を提案するためのデザイン感性と実践的技術を修得し、持続可能な生活環境と倫理観を持って創造することができる技術者やデザイナーとなる人材を養成することを目的とする。
- 4 理工学部建築学科は、地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能性、審美性の追究と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者を養成することを目的とする。
- 5 理工学部機械工学科は、人類、社会が直面する課題の解決に寄与する機械の研究開発やものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決するための総合的な能力を身につけた実践的機械技術者を養成することを目的とする。
- 6 理工学部電気電子情報工学科は、社会を支える電気・情報・電子・通信工学の幅広い知識や技術について、電気工学・情報工学を中心に修得し、製品やシステム開発および設計施工などの現場において課題を発見して解決できる実践的な電気系・情報系技術者を養成することを目的とする。
- 7 理工学部都市環境工学科は、複雑化・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面の技術と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の技術を修得し、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を養成することを目的とする。
- 8 国際学部国際学科は、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化などの基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 9 経営学部経営学科は、企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養をあわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。

- 10 薬学部薬学科は、薬剤師として高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の発展、健康・福祉の増進、生活環境の保全等、健康社会の現実に貢献し、多様な人々と協働して社会で活躍できる人材を育成することを目的とする。
- 11 法学部法律学科は、幅広い教養と法学・政治学・法政策学に関わる専門的知識に裏打ちされ、論理的に問題解決ができる能力を有し、主体的に社会貢献をなしうる人間力を持った人材を養成することを目的とする。
- 12 経済学部経済学科は、経済学を基礎として幅広い見識と豊かな人間性を有し、現代の経済社会の諸問題を自ら発見し、多様な人々と協働してその解決に取り組むことのできる人材を養成することを目的とする。
- 13 看護学部看護学科は、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観、心豊かな人間性と看護実践能力を備えた人材を育成し、地域社会における保健・医療・福祉の向上、看護の発展に貢献できる看護職者を養成することを目的とする。
- 14 農学部農業生産学科は、生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 15 農学部応用生物科学科は、生物・生命の諸現象と、その背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成することを目的とする。
- 16 農学部食品栄養学科は、農学の学びを基盤として、食のプロセス(農産物の生産から加工・流通・消費まで)を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 17 農学部食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 18 現代社会学部現代社会学科は、社会学を基礎とした幅広い見識を有し、社会学的想像力と実践力を身につけた、現代社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知的専門職業人を要請する。

(別科)

第2条の2 本大学に留学生別科を置く。

2 留学生別科については、留学生別科規定に定める。

(収容定員)

第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
理工学部	生命科学科	105名	5名	430名
	住環境デザイン学科	85名	5名	350名
	建築学科	80名	5名	330名
	機械工学科	130名	5名	530名
	電気電子情報工学科	105名	5名	430名
	都市環境工学科	80名	5名	330名
	計	585名	30名	2,400名
国際学部	国際学科	250名	5名	1,010名
経営学部	経営学科	280名	6名	1,132名
薬学部	薬学科	220名	—	1,320名
法学部	法律学科	280名	5名	1,130名
経済学部	経済学科	280名	4名	1,128名
看護学部	看護学科	100名	—	400名
農学部	農業生産学科	80名	—	320名
	応用生物科学科	80名	—	320名
	食品栄養学科	80名	—	320名
	食農ビジネス学科	100名	—	400名
	計	340名	—	1,360名
現代社会学部	現代社会学科	250名	—	1,000名

(職員)

第4条 本大学に、学長、副学長、全学教育機構長、学部長、教務部長、学生部長、事務局長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学には、前項のほか、IRセンター長、図書館長、情報メディアセンター長、枚方

キャンパス事務室長、入試部長、就職部長、研究支援・社会連携センター長、グローバルセンター長、学科長、教室主任その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第5条 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。

- 2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行う。
- 3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部にも所属する職員を指揮監督する。
- 4 教務部長および学生部長は、学長を補佐し、その命を受けて部内の業務を掌理するとともに、各学部間の調整を行う。
- 5 事務局長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。
- 6 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 7 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 8 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。
- 9 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 10 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 11 研究職員は、教授、准教授、講師および助教の職務を補助し、または指導を受け研究に従事する。
- 12 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 13 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

第6条 本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

- 2 大学・大学院運営会議は、学長、副学長、全学教育機構長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、事務局長、図書館長、情報メディアセンター長、枚方キャンパス事務室長、入試部長および就職部長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

(学長戦略会議)

第6条の2 本大学に、学長戦略会議を置く。

- 2 学長戦略会議は、学長、副学長、事務局長、枚方キャンパス事務室長、全学教育機構長、教務部長、学生部長、入試部長、就職部長および学長が指名した者をもって構成し、本大学の運営上の重要な事項を協議する。
- 3 その他学長戦略会議について必要な事項は、学長戦略会議規定に定める。

(教育推進会議)

第6条の3 本大学に、教育推進会議を置く。

- 2 教育推進会議は、学長、全学教育機構長、教務部長、学部長、事務局長、全学教育副機構長、全学教育機構教育推進課長、教務課長および必要に応じて学長が任命した者をもって構成し、本大学の教育推進戦略および全学共通教育に関する重要な事項を協議する。
- 3 その他教育推進会議について必要な事項は、教育推進会議規定に定める。

(研究推進会議)

第6条の4 本大学に、研究推進会議を置く。

- 2 研究推進会議は、学長、副学長、学部長、事務局長、研究支援・社会連携センター長、地域総合研究所長、融合科学研究所長、地域医療研究センター長、その他、必要に応じて学長が任命した者をもって構成し、本大学の全学的な研究推進に関する重要な事項を協議する。
- 3 その他研究推進会議について必要な事項は、研究推進会議規定に定める。

(教授会)

第7条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

イ 学生の入学および卒業に関すること

ロ 学位の授与に関すること

ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの

- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第8条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 評価委員会
- ロ 教員選考・活動評価委員会
- ハ 入試委員会
- ニ 教務委員会
- ホ FD推進委員会
- ヘ 学生委員会
- ト 図書館運営委員会
- チ 就職委員会
- リ 情報メディアセンター運営委員会
- ヌ 人権侵害防止委員会
- ル 個人情報保護委員会
- ヲ 教職課程運営委員会

- 2 評価委員会は、自己点検・評価および第三者評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。
- 3 教員選考・活動評価委員会は、教員の採用および昇任の資格審査、研修ならびに教員活動評価に関する事項を審議する。
- 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、その他重要な事項を審議する。
- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 FD推進委員会は、学長の諮問に応じて本大学の授業内容と授業方法の改善に関する事項を審議する。
- 7 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 10 情報メディアセンター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報メディアセンターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 11 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 12 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。

13 教職課程運営委員会は、学長の諮問に応じて教職課程の運営に関し必要な事項を審議する。

14 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育方法改善のための組織的な研修等)

第8条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るため、組織的な研修および研究を行う。

### 第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を2期に分ち、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。ただし、学長は、前期・後期の授業日数を調整するため、前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第11条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日

ロ 本学園創立記念日(10月30日)

ハ 春期休業日 3月25日から4月4日まで

ニ 夏期休業日 8月1日から9月18日まで

ホ 冬期休業日 12月23日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

### 第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

理工学部 4年

国際学部 4年

経営学部 4年

薬学部 6年

法学部 4年

経済学部 4年

看護学部 4年

農学部 4年

現代社会学部 4年

(在学年限)

第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。

理工学部 8年

国際学部 8年

経営学部 8年

薬学部 12年

法学部 8年

経済学部 8年

看護学部 8年

農学部 8年

現代社会学部 8年

2 前項にかかわらず、第19条および第20条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

## 第5章 入学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第10条に定める学期の区分に従い、入学させることができる。

(入学資格)

第15条 本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者

ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)

ハ 学校教育法施行規則第150条に定められた者

(入学志願手続)

第16条 本大学への入学を志願する者は、指定の期日までに、所定の出願書類に第40条に

定める入学検定料を添えて学長に願出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 入学志願者の選考は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに、学費納入規定に定める学費を納入し、かつ、所定の書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。

(編入学、転入学および再入学)

第19条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に編入学を許可することができる。

イ 大学を卒業した者

ロ 大学における2年以上の課程を履修して退学した者

ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者

ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者  
へ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

チ 本大学において、個別の入学資格審査により、全各号と同等以上の学力があると認められた場合で、入学までに満20歳に達する者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することができる。

イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者

ロ 外国の大学に入学し、履修歴のある者

3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することができる。

イ 本大学を卒業した者

ロ 本大学を退学した者

ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者

- 4 その他編入学、転入学および再入学については、編入学規定、転入学規定、再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部または転学科)

第20条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者は、所属学部長の承認を得て、志願することができる。

- 2 転学部または転学科は、志願先の教授会の意見を聴いて学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可する。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第21条 第18条の規定により、入学を許可された者が入学以前に他の大学または短期大学等において修得した単位は、学部長が教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

- 2 前項により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第26条により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数と合わせて60単位を限度とする。
- 3 第19条および前条の規定により、入学または転学部、転学科を許可された者の本大学または他の大学もしくは短期大学等においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

## 第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第22条 本大学の学部および学科の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を置く。

- 2 授業科目は、専門科目および教養科目とし、これを必修科目、選択必修科目および選択科目に区分する。
- 3 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。
- 4 第2項のほか、自由科目を置くものとし、各学部の履修規定に定める。

(副専攻)

第22条の2 特定の課題に関する科目で構成する教育課程(副専攻)を開設し、その学習成果を認定することができる。なお、副専攻の教育課程、履修方法および認定要件については、別に定める。

(授業の方法)

第22条の3 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。ただし、これにより修得する単位数は60単位を超えないものとする。
- 3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 第1項の授業の一部を、校舎および付属施設以外の場所で行うことができる。

(単位の計算方法)

第23条 1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、つぎのとおりとする。

イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

ハ 前2号にかかわらず、講義および演習と実験、実習、実技を組み合わせる授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 2 「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(単位の授与)

第24条 授業科目を履修し、試験その他の評価方法により合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価基準等)

第25条 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

- 2 前項のほか、授業科目の成績については、各学部の履修規定に定める。

(他大学等における授業科目の履修等)

第26条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 本大学の学部間または学科間の協議に基づき、学部長は、他の学部または他の学科の授業科目を履修させることができる。

4 前3項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(履修の方法および要件等)

第27条 履修の方法および要件等については、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第28条 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第2のとおり定める。

3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第2の2のとおりとする。

4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

## 第7章 卒業および学位

(卒業)

第29条 所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

理工学部 124単位以上

国際学部 124単位以上

経営学部 124単位以上

薬学部 186単位以上

法学部 124単位以上

経済学部 124単位以上

看護学部 128単位以上

農学部 124単位以上

現代社会学部 124単位以上

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

学部	学科	学位
理工学部	生命科学科	学士(理学)
	住環境デザイン学科	学士(工学)
	建築学科	
	機械工学科	
	電気電子情報工学科	
	都市環境工学科	
国際学部	国際学科	学士(文学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
法学部	法律学科	学士(法学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
農学部	農業生産学科	学士(農学)
	応用生物科学科	
	食品栄養学科	
	食農ビジネス学科	
現代社会学部	現代社会学科	学士(社会学)

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

#### 第8章 休学、転学、留学、退学および除籍

(休学)

第31条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、休学することができる。

2 休学は、所属学部長が許可する。

3 病気その他修学することが適当でない認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第32条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。

3 休学期間は、第12条の修業年限および第13条の在学年限に算入しない。

(復学)

第33条 休学期間が満了し、または休学の理由が消滅したときは、復学することができる。

2 復学は、所属学部長が許可する。

(転学)

第34条 他の大学へ入学または転入学を志願しようとする者は、所属学部長に転学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学部長の許可を得て留学することができる。

2 学部長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。

3 前項の許可を得て留学した期間は、第13条に定める在学期間を含めることができる。

4 第26条第4項にかかわらず、外国の大学へ留学する場合、卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、30単位を限度とする。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

イ 学費を所定の期日までに納入しない者

ロ 休学者または学生海外留学規定による留学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者

ハ 第13条に定める在学年限を超えた者

ニ 成業の見込みがないと認められる者

ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者

ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者

ト 薬学部、看護学部の学生で、同一年次の上位年次配当授業科目の履修要件を休学期間を除く2年間で充足せず、かつ成業の見込みがないと認められる者

チ 死亡が確認された者

## 第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に価する行為があった学生は、表彰する。

2 表彰については、摂南大学学生の学園生活規定に定める。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、放學、停學、譴責および訓告とする。

3 前項の放學は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入學は許可しない。

イ 性行不良で改善の見込みがない者

ロ 正当な理由がなくて出席常でない者

ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停學の期間は、在學年限に算入し、修業年限に算入しない。

## 第10章 入學検定料および學費等

(入學検定料)

第40条 入學検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(學費等)

第41条 學費は、入學金、授業料および教育充實費とし、その額は、別表第3のとおり定める。

2 休學中の學費は、休學開始日の属する期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を學費免除の当該期から納入しなければならない。

3 その他休學中の學費等の取扱いについては、學費納入規定に定める。

(既納の入學検定料および學費等)

第42条 既に納入された入學検定料、學費および在籍料は、返戻しない。ただし、學費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条 學費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、學費納入規定に定める。

## 第11章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。
- 5 その他研究生については、研究生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 授業科目を履修し、合格した者には所定の単位を与える。
- 3 履修料の額は、別表第5のとおり定める。
- 4 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。

(特別聴講学生)

第46条 他の大学、短期大学または高等専門学校で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他校との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

- 2 出願資格、履修料等その他必要な事項については、特別聴講学生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の意見を聴いて、外国人留学生としてこれを許可することができる。

- 2 外国人留学生は、留学目的により第1種外国人留学生、第2種外国人留学生および第3種外国人留学生とし、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生とは、大学の課程を修了して学士の学位を取得することを目的とし、1年次または相当年次に入学する者

ロ 第2種外国人留学生とは、特定の研究課題の研究を目的とする者

ハ 第3種外国人留学生とは、特定の授業科目を聴講することを目的とする者

- 3 外国人留学生の出願資格は、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生は、外国において学校教育における12年以上の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ロ 第2種外国人留学生は、外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

ハ 第3種外国人留学生は、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

4 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の意見を聴いて、帰国学生としてこれを許可することができる。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(外国人留学生および帰国学生に関する授業科目の開設)

第49条 外国人留学生および帰国学生に関しては、日本語および日本事情等の授業科目を開設することができる。

(その他)

第50条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生について必要な事項は、別に定める。

## 第12章 公開講座

(公開講座)

第51条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

## 第13章 付属施設

(図書館)

第52条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究に資する。

(情報メディアセンター)

第52条の2 本大学に、情報メディアセンターを設け、本大学の職員および学生の教育研究に資する。

(研究支援・社会連携センター)

第52条の3 本大学に、研究支援・社会連携センターを設け、本大学の産官学連携および地域連携の推進に資する。

(保健室)

第53条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(福利厚生施設)

第54条 本学園に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章 その他

(学則の改廃)

第55条 本学則の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

付 則

- 1 本学則施行に必要な細則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 3  
イ この改正学則は、2026年4月1日から施行する。  
ロ 2022年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。  
ハ 2022年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。  
ニ 2024年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。  
ホ 第2条第10項については、2024年度入学生から適用する。  
ヘ 第3条にかかわらず、電気電子工学科は、2026年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

別表第1 教育課程表

1 理工学部

イ 生命科学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門共通科目群	専門基	生物学概論	②
		礎系	物理科学	②
			生物無機化学	②
			生物統計学	②
			生命科学・統計情報処理	②
			生命科学と倫理	②
			生物有機化学	②
			基礎生物学	2
	基礎生	生化学 I	②	

	命系	生化学Ⅱ	②
		微生物学	②
		生化学Ⅲ	②
		発生生物学	2
		ゲノムダイナミクス	2
	動植物	動物生理学	②
	生命系	植物生理学	②
		実験動物学	2
		実験植物学	2
	生物機 能情報 系	構造生物学	②
		糖鎖工学	②
		タンパク機能学	2
		細胞機能学	2
		分子細胞制御学	2
	医薬生 命系	幹細胞生物学	②
		免疫学	②
		薬理学	②
		人体と病態	2
		生化学検査学	2
	生物工 学系	創薬科学	2
		応用微生物学	②
		遺伝子工学	②
		生体利用機能学	2
	環境科 学系	バイオテクノロジー入門	2
		生命環境解析学	②
環境毒性学		②	
環境分析化学		2	
食品科 学系	バイオ環境工学	2	
	食品分析学	②	
		食品生化学	2

		機能性食品科学	2
	実験演習系	物理学実験	①
		生物学基礎実習	①
		分析化学実習	①
		微生物学実習	①
		分子生物学実習	①
		生化学実習	①
		生命科学データベース論・演習	①
		生体物質機能解析実習	①
		薬理学実習	①
		ゼミ系	基礎演習Ⅰ
	基礎演習Ⅱ		①
	研究基礎演習		①
	卒業研究		⑥
	総合研究コア群	生命科学特別演習Ⅰ	②
		生命科学特別演習Ⅱ	②
		生命科学キャリア支援講座	②
		生命科学キャリア支援演習	②
	先端研究コア群	先端生命科学実習Ⅰ	②
		先端生命科学実習Ⅱ	②
		先端生命科学概論	②
		先端生命科学英語読解	②
	教育スペシャリストコア群	理科教育法Ⅰ	②
		理科教育法Ⅱ	②
		理科教育法Ⅲ	②
		理科教育法Ⅳ	②
		生命科学理科教育演習	②
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2

	実践の思想	2
	哲学から学ぶ	2
	歴史に学ぶ	2
	人文地理学	2
社会科学系	日本の政治	2
	法学入門	2
	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技 術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
科学技術教養T	2	
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1

	英語基礎会話Ⅰ	1
	英語基礎会話Ⅱ	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現Ⅰ	1
	コミュニケーションⅠ	1
	コミュニケーションⅡ	1
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
キャリアデザ イン系	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2

		教養特別講義V	2
外国人留学生 対象科目		日本事情F I	2
		日本事情F II	2
		日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
帰国学生対象 科目		日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	64単位	—	32単位以上	96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	65単位	—	59単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 住環境デザイン学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎群	数学系 基礎数学演習	2	
		微積分Ⅰ	4	
		微積分Ⅱ	4	
		線形代数Ⅰ	2	
		線形代数Ⅱ	2	
		工業数学Ⅰ	2	
		工業数学Ⅱ	2	
		代数学	2	
		幾何学Ⅰ	2	
		幾何学Ⅱ	2	
		解析学	2	
		統計学	2	
		科学系	物理学基礎演習	2
		物理学	2	
	基礎力学演習	①		
	力学	②		
	化学	2		
	生物学	2		
	実験系	理工学基礎実験	②	
	物理学実験	2		
	化学実験	2		
	情報系	統計情報処理	①	
	専門コア群	共通系	住環境倫理	②
			建築法規	②
			住環境デザイン概論	②
			デザイン方法論	②
			図形科学	②
福祉住環境学			②	

		コミュニティプランニング	②		
		住環境マネジメント	②		
		居住安全計画	②		
環境デザイン系	環境デザイン系	環境設備計画A	②		
		住環境工学A	②		
		住環境工学B	②		
		住環境設備	②		
		環境設備計画B	②		
		住環境材料学	②		
		構造デザイン論	②		
		ランドスケープデザイン論	2		
		構造力学Ⅰ	②		
		構造力学Ⅱ	②		
		建築一般構造学	②		
		住宅生産学	②		
		空間デザイン系	空間デザイン系	住生活学	②
				建築計画学	②
地域・都市計画学	②				
近代デザイン史	②				
日本建築史	②				
西洋建築史	②				
インテリアデザイン論	②				
建築デザイン論	②				
少人数教育群	演習系	空間表現演習A	②		
		空間表現演習B	②		
		造形演習	②		
		基礎設計演習	②		
		設計演習Ⅰ	②		
		設計演習Ⅱ	②		
		設計演習Ⅲ	③		

教養科目		インテリアデザイン演習	②	
		環境工学演習	②	
		デザイン方法演習	③	
		サステナブルデザイン演習	③	
		ゼミ系	ゼミA	①
			ゼミB	①
			ゼミC	①
			スタジオ	②
			卒業研究	⑥
		人文科学系	文学から学ぶ	2
	人間力と心理		2	
	心理と社会		2	
	実践の思想		2	
	哲学から学ぶ		2	
	歴史に学ぶ		2	
人文地理学	2			
社会科学系	日本の政治	2		
	法学入門	2		
	日本国憲法	2		
	経済学入門	2		
	企業経営	2		
	社会の仕組み	2		
	マーケティング	2		
	産業社会と知的財産	2		
	国際理解概論	2		
自然・科学技術系	産業技術史	2		
	地学	2		
	地学実験	2		
	科学技術教養V	2		
	科学技術教養A	2		

	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2

	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1

	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	44単位	53単位以上		97単位以上
教養科目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	45単位	79単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 建築学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系 基礎数学演習	2
		微積分 I	4
		微積分 II	4
		線形代数 I	2
		線形代数 II	2
		工業数学 I	2
		工業数学 II	2
		代数学	2
		幾何学 I	2
		幾何学 II	2
		解析学	2
		統計学	2
	科学系	物理学 I	2
		物理学 II	2
基礎力学演習		1	

		力学Ⅰ	2
		力学Ⅱ	2
	実験系	理工学基礎実験	②
		物理学実験	2
	情報系	情報メディアデザイン	2
		統計情報処理	1
専門コア群	共通系	図学	②
		建築概論	②
		建築法規	②
		建築倫理	②
		建築情報処理基礎	②
		建築情報処理応用	②
		測量	②
		地球環境論	②
		建築総合演習	①
		建築マネジメント	②
		まちづくり論	②
		建築実務実践	②
		計画・環境系	建築計画基礎
	都市地域デザイン		②
	西洋建築史		②
	建築計画各論		②
	福祉すまい環境		②
	建築環境工学Ⅰ		②
	建築環境工学Ⅱ		②
	建築設備学		②
	日本建築史		②
	近代建築史		②
	建築環境工学Ⅲ		②

		材料デザイン	②
		現代作品論	②
	構造・	構造力学・構造基礎	②
	生産系	構造力学Ⅰ	③
		構造力学Ⅱ	③
		建築材料	②
		建築施工	②
		鉄筋コンクリート構造	②
		構造設計	②
		鋼構造	②
		構造力学Ⅲ	②
		地盤工学	②
		耐震工学・振動学	②
少人数	実験実	建築基礎演習A	②
教育群	習系	建築基礎演習B	②
		建築設計製図A	②
		建築設計製図B	②
		建築設計演習A	②
		建築設計演習B	②
		建築環境工学演習	②
		構造実験	②
	ゼミ系	建築ゼミⅠ	①
		建築ゼミⅡ	①
		建築ゼミⅢ	③
		卒業研究	⑥
教養科	人文科学系	文学から学ぶ	2
目		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2

	歴史に学ぶ	2
	人文地理学	2
社会科学系	日本の政治	2
	法学入門	2
	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
	自然・科学技 術系	産業技術史
地学		2
地学実験		2
科学技術教養V		2
科学技術教養R		2
科学技術教養M		2
科学技術教養E		2
科学技術教養C		2
科学技術教養T	2	
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1

	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生	日本事情 F I	2

対象科目	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ
日本事情RⅡ		2
日本語読解R		1
日本語文法R		1
日本語表現作文R		1
日本語総合R		1
日本語会話R		1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	56単位	40単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	57単位	67単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 機械工学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎群	数学系 基礎数学演習	2	
		微積分Ⅰ	4	
		微積分Ⅱ	4	
		線形代数Ⅰ	2	
		線形代数Ⅱ	2	
		工業数学Ⅰ	2	
		工業数学Ⅱ	2	
		統計学	2	
		代数学	2	
		幾何学Ⅰ	2	
		幾何学Ⅱ	2	
		解析学	2	
		応用数学Ⅰ	2	
		応用数学Ⅱ	2	
		科学系	基礎力学演習	1
	力学Ⅰ	2		
	力学Ⅱ	2		
	物理学Ⅰ	2		
	物理学Ⅱ	2		
	実験系	理工学基礎実験	①	
	物理学実験	①		
	情報系	統計情報処理	1	
	プログラミングベーシック	①		
	プログラミングアドバンス	1		
	専門コア群	共通系	機械工学概論	②
			機械力学Ⅰ	②
			機械力学Ⅱ	②
			制御工学Ⅰ	②
			制御工学Ⅱ	2

		流体工学 I	②
		流体工学 II	②
		材料力学 I	②
		材料力学 II	②
		熱工学 I	②
		熱工学 II	②
		機械製作法	②
		生産加工学	②
		生産工学	②
		機械設計学 I	②
		機械設計学 II	②
		機械材料学 I	②
		機械材料学 II	2
		技術者倫理	②
		機械工学演習 I	②
		機械工学演習 II	2
	発展系	エネルギー変換工学	2
		ライフサイクル工学	2
		流体力学	2
		振動工学	2
		弾性力学	2
		ロボット工学	2
		知能工学	2
		航空宇宙工学	2
		計測工学	2
		インダストリアルデザイン	2
		生体医用工学	2
		機械と色彩	2
		テクニカルドローイング	1
		ものづくりの工学	2

		デジタルエンジニアリング	2
		品質工学	2
少人数 教育群	実験実 習系	基礎機械工作実習	②
		応用機械工作実習	②
		機械工学実験	②
		機械製図Ⅰ	②
		機械製図Ⅱ	②
		基礎機械設計	②
		応用機械設計	②
		ゼミ系	機械創成基礎演習Ⅰ
	機械創成基礎演習Ⅱ		①
	機械創成応用演習		②
	研究基礎演習		①
	卒業研究		⑥
	教養科 目	人文科学系	文学から学ぶ
人間力と心理			2
心理と社会			2
実践の思想			2
哲学から学ぶ			2
歴史に学ぶ			2
人文地理学			2
社会科学系		日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2

自然・科学技 術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザ イン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2

スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1

帰国学生対象 科目	日本語会話F I	1
	日本語会話F II	1
	日本事情R I	2
	日本事情R II	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	49単位	47単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	50単位	74単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ホ 電気電子情報工学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分 I	4
			微積分 II	4
			線形代数 I	2
			線形代数 II	2
			電気数学 I	2
			電気数学 II	2
			代数学	2
			幾何学 I	2
幾何学 II	2			

専門コア群		解析学	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	科学系	物理の基礎	3
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		理工学基礎実験	①
		物理学実験	2
		情報系	統計情報処理
		Cプログラミング	①
	共通系	電気情報工学概論	②
		フーリエ解析	2
		確率統計	2
		電磁気学Ⅰ	②
		電磁気学Ⅱ	②
		電磁界理論	2
		電気回路Ⅰ	②
		電気回路Ⅱ	②
		論理回路基礎	2
		電子回路基礎	2
電気電子計測		2	
品質管理		2	
電気回路CAD		2	
技術者への道		2	
技術者倫理		②	
電気系		電気機器Ⅰ	2
		電気機器Ⅱ	2
	電気エネルギー工学	2	
	電力工学	2	
	電力伝送	2	

		電気設備工学	2
		パワーエレクトロニクス	2
		電機設計製図	2
		電気法規及び施設管理	②
		電気工学演習	①
	電子系	ロボット工学概論	2
		電子材料	2
		電子デバイス工学	2
		論理回路	2
		電子回路	2
		IoTデバイス	2
		制御システム	2
	通信系	情報理論	2
		通信システム	2
		光エレクトロニクス	2
		通信工学Ⅰ	2
		通信工学Ⅱ	2
		通信ネットワーク	2
		電波法規	②
	情報系	アドバンスプログラミング	1
		コンピュータシステムⅠ	2
		コンピュータシステムⅡ	2
		コンピュータ解析	2
		アルゴリズムとデータ構造	2
		グラフ理論	2
		人工知能	2
		IoTプロセッシング	2
		情報工学演習	①
少人数 教育群	演習実 習系	電気情報基礎実験	②
		電気系実験Ⅰ	②

教養科目		情報系実験Ⅰ	②	
		電気情報創成演習	②	
		電気系実験Ⅱ	③	
		情報系実験Ⅱ	③	
		ゼミ系	基礎ゼミナール	①
			卒業研究基礎	①
			卒業研究	⑥
		人文科学系	文学から学ぶ	2
			人間力と心理	2
	心理と社会		2	
	実践の思想		2	
	哲学から学ぶ		2	
	歴史に学ぶ		2	
	人文地理学		2	
	社会科学系	日本の政治	2	
		法学入門	2	
		日本国憲法	2	
		経済学入門	2	
		企業経営	2	
		社会の仕組み	2	
マーケティング		2		
産業社会と知的財産		2		
国際理解概論		2		
自然・科学技術系	産業技術史	2		
	地学	2		
	地学実験	2		
	科学技術教養V	2		
	科学技術教養R	2		
	科学技術教養A	2		
	科学技術教養M	2		

	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2

	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1

	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	20単位	76単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	21単位	103単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

へ 都市環境工学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系 基礎数学演習	2
		微積分 I	4
		微積分 II	4
		線形代数 I	2
		線形代数 II	2
		工業数学 I	2
		工業数学 II	2
		代数学	2
		幾何学 I	2
		幾何学 II	2
	解析学	2	
	科学系	理工学基礎	①
		物理学	2
		化学	2
		生物学	2
		地質学	2
基礎力学演習		1	

		力学Ⅰ	2
		力学Ⅱ	2
	実験系	理工学基礎実験	①
		物理学実験	①
	情報系	統計情報処理	1
専門コア群	建設系	構造力学基礎・演習	③
		構造力学Ⅰ	②
		構造力学Ⅱ	②
		地盤力学Ⅰ・演習	③
		地盤力学Ⅱ	②
		建設構造材料学	②
		水理学Ⅰ・演習	③
		水理学Ⅱ	②
	環境計	自然・都市環境論	②
	画系	地球環境学	②
		環境衛生工学Ⅰ	②
		環境衛生工学Ⅱ	②
		リサイクル工学	②
		計画システム	②
		都市計画学	②
		環境地盤工学	②
	専門応	鋼構造学	②
	用系	コンクリート構造学	②
		建設施工学	②
		交通・道路工学	②
		流域・沿岸域工学	②
		構造物メンテナンス	②
		防災・耐震工学	②
		空間情報学・演習	③
		コンストラクションマネジメント入門	②

		シビックデザイン	②
	倫理法	技術者倫理	②
	規系	建設環境法規	②
	建築系	建築・都市計画入門	2
		建築設計製図基礎	1
		建築設計製図Ⅰ	1
		建築設計製図Ⅱ	1
		建築設計製図Ⅲ	1
	測量・	測量学Ⅰ	②
	実験系	測量学実習Ⅰ	①
		測量学Ⅱ	②
		測量学実習Ⅱ	①
		建設工学実験	②
		環境工学実験	②
	専門情 報系	CAD実習	①
少人数 教育群	専門演 習系	構造力学Ⅰ演習	①
		コンクリート構造学演習	①
		地盤力学Ⅱ演習	①
		水理学Ⅱ演習	①
		計画システム演習	①
	総合演 習系	実践日本語演習	①
		都市環境基礎演習	①
		都市環境総合演習Ⅰ	①
		都市環境総合演習Ⅱ	①
		都市環境数理総合演習	①
		都市建設設計製図	①
		環境計画設計製図	①
	ゼミ系	都市環境基礎ゼミⅠ	①
		都市環境基礎ゼミⅡ	①

教養科目		都市環境ゼミナール	①	
		卒業研究	⑥	
	人文科学系		文学から学ぶ	2
			人間力と心理	2
			心理と社会	2
			実践の思想	2
			哲学から学ぶ	2
			歴史に学ぶ	2
			人文地理学	2
	社会科学系		日本の政治	2
			法学入門	2
			日本国憲法	2
			経済学入門	2
			企業経営	2
			社会の仕組み	2
			マーケティング	2
			産業社会と知的財産	2
			国際理解概論	2
	自然・科学技術系		産業技術史	2
			地学	2
			地学実験	2
			科学技術教養V	2
			科学技術教養R	2
			科学技術教養A	2
			科学技術教養M	2
			科学技術教養E	2
		科学技術教養T	2	
英語系		基礎英語 I a	1	
		基礎英語 I b	1	
		基礎英語 II a	1	

	基礎英語Ⅱb	1
	実践英語Ⅰa	1
	実践英語Ⅰb	1
	実践英語Ⅱa	1
	実践英語Ⅱb	1
	英語基礎会話Ⅰ	1
	英語基礎会話Ⅱ	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現Ⅰ	1
	コミュニケーションⅠ	1
	コミュニケーションⅡ	1
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2

	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	28単位	69単位以上		97単位以上
教養科目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	29単位	95単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

## 2 国際学部

### 国際学科

区分			授業科目	単位数
専門 科目	協働 学習 プロ ジェ クト 科目	文化 構想 領域 科目	プロ 表象と感性プロジェクト	2
			ジェ 歴史学プロジェクト	2
			クト 地理学プロジェクト	2
			科目 比較文化プロジェクト	2
			人間存在論プロジェクト	2
			都市と周縁プロジェクト	2
			国際社会と日本語プロジェクト	2
	基幹 科目	表象文化論	2	
		地域と歴史	2	
		環境と社会	2	
		思想と文化	2	
		テクノロジーと人間	2	
		異文化の理解	2	
		多文化社会と日本語	2	
	接続 科目	英語圏異文化交流論	2	
		英語圏比較文化論	2	
		中国語と生活文化	2	
		中国語圏の言語文化	2	
		スペインの言語と文化	2	
		ラテンアメリカの言語と文化	2	
		インドネシア語と生活文化	2	

		インドネシア語と現代文化	2	
国際 共生 領域	プロ ジェ クト	地域研究プロジェクト(英語と諸地域)	2	
		地域研究プロジェクト(東アジア世界)	2	
	科目	地域研究プロジェクト(スペイン語と諸地域)	2	
		地域研究プロジェクト(東南アジア世界)	2	
		海外特別プロジェクト I	2	
	基幹 科目	グローバルスタディーズ(英語と諸地域)	2	
		グローバルスタディーズ(東アジア世界)	2	
		グローバルスタディーズ(スペイン語と諸地域)	2	
		グローバルスタディーズ(東南アジア世界)	2	
	接続 科目	英語で考える環境問題	2	
		英語で考える社会問題	2	
		中国語を通して見る世界	2	
		中国語圏の地域と共生	2	
		スペインから世界を見る	2	
		ラテンアメリカから世界を見る	2	
		インドネシア語で世界を知る	2	
		マレー語圏の地域を知る	2	
	社会 協創 領域	プロ ジェ クト	言語コミュニケーションプロジェクト	2
			メディアと現代社会プロジェクト	2
科目		マイノリティ研究プロジェクト	2	
		地域研究・国際政治プロジェクト	2	
		地域とビジネスプロジェクト	2	
		国際貢献・ボランティアプロジェクト	2	
		海外特別プロジェクト II	2	
基幹 科目		ことばと社会	2	
		メディア文化論	2	
		ジェンダーとマイノリティ	2	
		比較政治学	2	
		国際ビジネス論	2	

		国際貢献論	2
	接続	Studies in Media and Communication	2
	科目	Studies in Hospitality and Tourism	2
		中国語で読み解く地域社会	2
		中国語圏から社会を考える	2
		スペイン語を通して学ぶヨーロッパ社会	2
		スペイン語を通して学ぶラテンアメリカ社会	2
		インドネシア語で考える現代社会	2
		マレー語で考える国際社会	2
	実習・演習	課題解決型ワークショップ	2
	科目	ホスピタリティ実習演習	2
		海外インターンシップ	2
		海外実習	2
		体験型特別実習	2
文化	地域文化	世界を学ぶ	②
社会	科目	日本を学ぶ	②
科目		エリアスタディーズ 北アメリカ	2
		エリアスタディーズ ラテンアメリカ	2
		エリアスタディーズ 東アジア	2
		エリアスタディーズ 西アジア・南アジア	2
		エリアスタディーズ 東南アジア	2
		エリアスタディーズ アフリカ	2
		エリアスタディーズ ヨーロッパ	2
		エリアスタディーズ オセアニア	2
	一般学芸	共同体論	2
	科目	多文化共生論	2
		風土と地理	2
		国際関係論	2
		国際社会と経済	2
		メディアリテラシー論	2

		現代社会論	2
		地域と観光	2
		生物と環境	2
		ナショナリズム論	2
		視覚文化論	2
		Studies in Popular Culture	2
		Studies in Language and Society	2
言語学芸 科目		音声学	2
		英語学概論	2
		言語学	2
		日本語史概説	2
		英語意味論・語用論	2
		日本語音韻論	2
		英語構造論	2
		日本語語彙論	2
		日本語文法論	2
		日本の文学	2
		中国の文学	2
		英語圏の文学	2
エアライ ン・ホスピ タリティ 科目		ホテルビジネス論	2
		ホスピタリティ基礎論	2
		ホスピタリティスキル論	2
		エアラインサービス論	2
		エアラインビジネス論	2
学芸員科 目		ミュージアムへの招待	2
		ミュージアムコレクション論	2
		博物館資料保存論	2
		ディスプレイ論	2
		生涯学習論	2
		ミュージアムマネジメント論	2

		博物館情報・メディア論	2
		博物館教育論	2
		博物館実習	3
日本語教 員科目		日本語教授法Ⅰ	2
		日本語教授法Ⅱ	2
		日本語教授法Ⅲ	2
		日本語教育実習演習	3
英語基礎 科目		Speaking&Writing a	1
		Reading a	①
		TOEIC a	1
		Communicative English Grammar	1
		Speaking&Writing b	1
		Reading b	①
		TOEIC b	1
		Drama	1
		Japanese Society and Culture	①
		Academic Reading&Listening	1
		Academic Writing Workshop	1
		Debate	1
		Presentation	1
地域 言語 科目	英語	Topic Studies I a	1
		Topic Studies I b	1
		Discussion a	1
		Topic Studies II a	1
		Discussion b	1
		Topic Studies II b	1
		Advanced Academic Writing Workshop a	2
		Lecture a	2
		Film Making	2
		Business English a	2

		Topic StudiesⅢa	2
		Advanced Academic Writing Workshop b	2
		Lecture b	2
		Business English b	2
		Topic StudiesⅢb	2
		Comprehensive Studies a	2
		Comprehensive Studies b	2
	諸言語	諸言語輪講	①
	中国語	中国語で読み解くⅠ	①
		中国語で表現するⅠ	①
		中国語で会話するⅠ	①
		中国語で読み解くⅡ	1
		中国語で表現するⅡ	1
		中国語で会話するⅡ	1
		中国語で読み解くⅢ	1
		中国語で表現するⅢ	1
		中国語で会話するⅢ	1
		中国語プレゼンテーション	2
	スペイン語	スペイン語文法Ⅰ	①
		スペイン語表現	①
		スペイン語会話Ⅰ	①
		スペイン語文法Ⅱ	1
		スペイン語読解	1
		スペイン語会話Ⅱ	1
		スペイン語圏社会講読(南欧)	1
		スペイン語圏社会講読(ラテンアメリカ)	1
		スペイン語文章構成	1
		スペイン語プレゼンテーション	2
	インドネシア語	インドネシア語文法	①

		ドネ	インドネシア語表現Ⅰ	①
		シア	インドネシア語会話Ⅰ	①
		語・	総合インドネシア語	1
		マレ	インドネシア語表現Ⅱ	1
		一語	インドネシア語会話Ⅱ	1
			総合マレー語	1
			実践インドネシア語	1
			旅行インドネシア語	1
			インドネシア語・マレー語プレゼンテーション	2
	ゼミ・卒業研究		初年次ゼミナール	②
			基礎ゼミナール	②
			基礎演習Ⅰ	②
			基礎演習Ⅱ	②
			文化演習Ⅰ	②
			文化演習Ⅱ	②
			卒業研究Ⅰ	②
			卒業研究Ⅱ	②
教養 科目	人文科学系		人間の探求	2
			文学から学ぶ	2
			歴史に学ぶ	2
			心理学	2
	社会科学系		法学入門	2
			世界の政治	2
			日本国憲法	2
			経済学入門	2
			経営学入門	2
	自然・科学技術 系		住まいとデザイン	2
			食品機能学	2
			人体の構造と機能	2
			公衆衛生学	2

	科学技術教養	2
英語系	基礎英語Ⅰa	①
	基礎英語Ⅱa	①
外国語系	韓国語Ⅰ	1
	韓国語Ⅱa	1
	韓国語Ⅱb	1
	韓国語Ⅲa	1
	韓国語Ⅲb	1
日本語系	日本語表現Ⅰ	1
	日本語表現Ⅱ	1
	コミュニケーションⅠ	1
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	①
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	①
	エンプロイメントデザインⅠ	1
	エンプロイメントデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2

	数的能力開発 I	1
	就職実践基礎	1
	時事問題 I	2
	時事問題 II	2
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1
	日本語会話 F II	1
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
	日本事情 R II	2
	日本語読解 R	1
	日本語文法 R	1
	日本語表現作文 R	1
	日本語総合 R	1
	専門日本語 R	1

	日本語会話R	1
--	--------	---

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	24単位	29単位以上 ① 協働学習プロジェクト科目26単位以上(文化構想領域、国際共生領域、社会協創領域において選択したプロジェクト科目1科目と対応する基幹科目1科目、および接続科目2科目の合計4科目8単位以上、実習演習科目2単位以上) ② 文化社会科目3単位以上(中国語、スペイン語、インドネシア語・マレー語のうち、いずれかの言語から3単位)	29単位以上 ① 地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から22単位以上 ② 地域言語科目から7単位以上(ただし、「English Language Honors Track」は地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から16単位以上、英語基礎科目から6単位以上、地域言語科目のうち英語科目から7単位以上)	92単位以上
		10単位以上		
教養科目	6単位	—	26単位以上 (人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系から16単位以上外国語系、日本語系、キャリアデザイン系、スポーツ系、共通基礎系から10単位以上)	32単位以上
計	30単位	29単位以上	65単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示

す。他は選択科目を示す。

### 3 経営学部

#### 経営学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎科目群	経営学入門	②
		経営管理論	2
		地域産業論	2
		ビジネス情報処理Ⅰ	②
		ビジネス情報処理Ⅱ	②
		ICTビジネス入門	②
		情報倫理	2
		情報と職業	2
		マーケティング入門	2
		消費者心理学	2
		簿記入門	④
		財務諸表論入門	2
		経済学入門	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		経営統計学	2
		市場調査入門	2
	マネジメントサイエンス	2	
	マネジメント群	経営組織論	2
		競争戦略論	2
		経営戦略論	2
		人的資源管理論	2
		組織行動論	2
		中小企業論	2
		現代企業論	2
		イノベーション論	2

	日本経営史	2
	外国経営史	2
	国際経営論 I	2
	国際経営論 II	2
ICTビジネス群	情報科学	2
	プログラミング I	2
	プログラミング II	2
	経営情報システム I	2
	経営情報システム II	2
	情報ネットワークとセキュリティ	2
	コンピュータデータ分析	2
	コンピュータサイエンス	2
	プロダクトデザイン I	2
	プロダクトデザイン II	2
	ビジネスシミュレーション	2
	流通情報システム	2
	マーケティング群	消費者行動論
マーケティング戦略論		2
メディアと社会		2
メディア戦略論		2
コンテンツビジネス		2
ブランド論		2
リテールマーケティング		2
サービスマーケティング		2
データサイエンス I		2
データサイエンス II		2
マーケティングリサーチ I		2
マーケティングリサーチ II		2
会計・ファイナ	商業簿記	2
	工業簿記	2

ンス群	財務会計論Ⅰ	2
	財務会計論Ⅱ	2
	連結会計論	2
	管理会計論Ⅰ	2
	管理会計論Ⅱ	2
	会計情報分析論	2
	ファイナンスⅠ	2
	ファイナンスⅡ	2
	コーポレート・ファイナンスⅠ	2
	コーポレート・ファイナンスⅡ	2
応用・実践科目群	ベンチャービジネス論	2
	ビジネスプランニング	2
	知的財産管理論	2
	企業分析(経営戦略ケース分析)	2
	ICTビジネス演習A	2
	ICTビジネス演習B	2
	ICTビジネス演習C	2
	マーケティング演習A	2
	マーケティング演習B	2
	マーケティング演習C	2
	調査実践演習Ⅰ	2
	調査実践演習Ⅱ	2
	中小企業会計論	2
	企業分析(財務戦略ケース分析)	2
	経営学特講Ⅰ	2
	経営学特講Ⅱ	2
	経営学特講Ⅲ	2
法律科目群	民法	2
	会社法	2
	労働法	2

		金融商品取引法	2
	演習・卒業研究	基礎演習	②
		専門基礎演習	②
		専門演習Ⅰ	④
		専門演習Ⅱ	④
		卒業研究	④
教養科目	人文学系	心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		倫理学	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		社会科学系	社会学Ⅰ
	社会学Ⅱ		2
	法学入門		2
	日本国憲法		2
	日本の政治		2
	世界の政治		2
	自然・科学技術系	住まいとデザイン	2
		自然地理学	2
		環境と現代社会	2
		公衆衛生学	2
		産業技術史	2
		科学技術教養	2
	英語系 外国語	基礎英語Ⅰa	Ⅰ
		基礎英語Ⅰb	Ⅰ

	基礎英語Ⅱa	1
	基礎英語Ⅱb	1
	実践英語Ⅰa	1
	実践英語Ⅰb	1
	実践英語Ⅱa	1
	実践英語Ⅱb	1
	ビジネスイングリッシュⅠ	1
	ビジネスイングリッシュⅡ	1
	英語コミュニケーションⅠ	1
	英語コミュニケーションⅡ	1
	アドバンスト英語Ⅰ	1
	アドバンスト英語Ⅱ	1
	アドバンスト英語Ⅲ	1
外国語系	海外語学研修	2
	ビジネス中国語基礎a	1
	ビジネス中国語基礎b	1
	ビジネス中国語基礎c	1
	ビジネス中国語基礎d	1
	中国語を聞くa	1
	中国語を聞くb	1
	中国語を話すa	1
中国語を話すb	1	
日本語系	日本語表現Ⅰ	1
	日本語表現Ⅱ	1
	コミュニケーションⅠ	1
数理・情報系	数学基礎Ⅰ	1
	数学基礎Ⅱ	1
	情報技術演習	1
キャリアデザ	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1

イン系	キャリアデザインⅢ	1
	エンプロイメントデザインⅠ	1
	エンプロイメントデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
	職業能力開発	2
スポー ツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志 向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基 礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
教養特 別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人 留学生 対象科 目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1

		日本語文法FⅡ	1
		日本語表現作文FⅠ	1
		日本語表現作文FⅡ	1
		日本語総合FⅠ	1
		日本語総合FⅡ	1
		専門日本語FⅠ	1
		専門日本語FⅡ	1
		日本語会話FⅠ	1
		日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
		日本事情RⅡ	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		必修科目	選択科目	計
専門科目		28単位	58単位以上	86単位以上
教養科目	英語系外国語、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	—	12単位以上 (選択必修科目4単位以上を含む英語系外国語または外国語系科目8単位以上を含む)	38単位以上
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系	—	— 20単位以上 (人文科学系・社会科学系ならびに自然・科学技術系各2単位以上を含む)	

	キャリアデザイン系	1単位	————	2単位以上
	教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	——	————	3単位以上
計		29単位		95単位以上
				124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

#### 4 薬学部

##### 薬学科

区分		授業科目		単位数	
専門科目	基礎	基礎薬学物理	必	2	
		基礎薬学化学	必	2	
		基礎薬学生物Ⅰ	必	2	
		基礎薬学生物Ⅱ	必	2	
	物理・化学系	薬学物理	選必	2	
		物理系薬学Ⅰ	選必	2	
		物理系薬学Ⅱ	選必	2	
		物理系薬学Ⅲ	選必	2	
		物理系薬学Ⅳ	選必	2	
		物理系薬学Ⅴ	選必	2	
		物理系薬学Ⅵ	選必	2	
		薬学化学	選必	2	
		生命有機化学Ⅰ	選必	2	
		生命有機化学Ⅱ	選必	2	
		臨床医薬品化学Ⅰ	選必	2	
		臨床医薬品化学Ⅱ	選必	2	
		生薬学	選必	2	
		天然物化学・薬用資源学	選必	2	
		生物系	生理解剖学Ⅰ	選必	2
			生理解剖学Ⅱ	選必	2

	生化学	選必	2
	生体情報伝達学	選必	2
	分子生物学Ⅰ	選必	2
	分子生物学Ⅱ	選必	2
	微生物学	選必	2
	免疫学	選必	2
医療系	薬理学Ⅰ	選必	2
	薬理学Ⅱ	選必	2
	薬剤学Ⅰ	選必	2
	薬剤学Ⅱ	選必	2
	薬剤学Ⅲ	選必	2
	薬剤学Ⅳ	選必	2
	薬剤学Ⅴ	選必	2
	疾患治療学概論	選必	2
	消化器・血液疾患治療学	選必	2
	精神神経疾患治療学	選必	2
	腎・生殖器疾患治療学	選必	2
	循環器疾患治療学	選必	2
	免疫疾患治療学	選必	2
	感染症治療学	選必	2
	悪性腫瘍治療学・緩和医療	選必	2
	内分泌・代謝性疾患治療学	選必	2
	漢方処方学	選必	2
	症候学	選必	2
	臨床薬学Ⅰ	選必	2
	臨床薬学Ⅱ	選必	2
	臨床薬学Ⅲ	選必	2
	臨床薬学Ⅳ	選必	2
	臨床薬学Ⅴ	選必	2
	統計学・データサイエンス	選必	2



系	経済学概説	選	2
	ジェンダーとダイバーシティ	選	2
自然・情報科学系	生命倫理学	選必	2
	臨床心理学	選必	2
	情報リテラシー	選必	1
	データサイエンス基礎	選必	1
	数学基礎	選	1
	数学	選	2
国際教養系	英語基礎	選必	1
	英語実践	選必	1
	英語コミュニケーションⅠ	選必	1
	英語コミュニケーションⅡ	選必	1
	中国語基礎	選	1
	韓国語基礎	選	1
	日本語基礎	選	1
	薬学英语	選必	2
	医療英会話	選必	2
	海外語学研修	選	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	選	2
	日本事情FⅡ	選	2
	日本語読解F	選	1
	日本語文法F	選	1
	日本語表現作文F	選	1
	日本語総合F	選	1
	専門日本語F	選	1
	日本語会話FⅠ	選	1
	日本語会話FⅡ	選	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	選	2
	日本事情RⅡ	選	2
	日本語読解R	選	1

		日本語文法R	選	1
		日本語表現作文R	選	1
		日本語総合R	選	1
		専門日本語R	選	1
		日本語会話R	選	1
人間力系		初年次ゼミ	必	1
		スポーツ科学実習 I	選	1
		キャリアデザイン基礎	選	1
教養特別		教養特別講義 I	選	2
		教養特別講義 II	選	2
		教養特別講義 III	選	2
		教養特別講義 IV	選	2
		教養特別講義 V	選	2

備考

1 卒業に必要な単位数

区分			計
専門科目	必修科目	62単位	166単位以上
	選択必修科目	104単位以上	
教養科目	必修科目	1単位	20単位以上
	選択必修科目	7単位以上	
	選択科目	12単位以上	
計			186単位以上

2 「必」の授業科目は必修科目、「選必」の授業科目は選択必修科目、「選」の授業科目は選択科目を示す。

3 専門科目の「総合薬学演習」には、最終試験を含む。

5 法学部

法律学科

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学 特修	企業法 務	地域政 策	スポー ツ法政

							策
専門科目	基礎法学	法学概論Ⅰ	2	○	○	○	○
		法学概論Ⅱ	2	○	○	○	○
		法哲学総論	2	□		□	
		法哲学各論	2	□			
		西洋法思想史	2	□	□		□
		日本法思想史	2	□	□		
		日本法制史	2	□	□	□	□
		東洋法制史	2		□		□
		西洋法制史	2	□	□	□	□
		比較法史	2				□
		法と社会	2		□	□	□
		ジェンダー法	2	□	□	□	□
		英米法	2		□		
		リーガル・リサーチ	2	□	□	□	
		司法制度論	2	□			
	憲法・行政法	憲法Ⅰ(人権総論)	2	□	□	□	□
		憲法Ⅱ(人権各論)	2	□	□	□	□
		憲法Ⅲ(統治機構)	2	□	□	□	□
		行政法Ⅰ(行政過程)	2	□		□	
		行政法Ⅱ(行政救済)	2	□			
		地方自治法	2	□		□	□
		環境法	2	□	□	□	
		租税法Ⅰ(総論)	2	□	□	□	
		租税法Ⅱ(各論)	2	□	□	□	
	刑事法	刑法ⅠA(総論①)	2	□	□	□	□
		刑法ⅠB(総論②)	2	□	□	□	□
		刑法ⅡA(各論①)	2	□	□	□	□
		刑法ⅡB(各論②)	2	□	□	□	□
		経済刑法	2		□		

	刑事訴訟法Ⅰ(捜査・公訴)	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	刑事訴訟法Ⅱ(公判・証拠法)	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	少年法	2	<input type="checkbox"/>			
	刑事政策Ⅰ(犯罪原因論)	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	刑事政策Ⅱ(犯罪対策論)	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
民事法	民法ⅠA(総則①)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅠB(総則②)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅡA(物権)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅡB(担保物権)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民法ⅢA(債権総論①)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民法ⅢB(債権総論②)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民法ⅣA(債権各論①)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅣB(債権各論②)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅣC(不法行為)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅤA(親族)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民法ⅤB(相続)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	消費者法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	民事訴訟法Ⅰ(裁判の流れ)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事訴訟法Ⅱ(判決の効力)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事執行・保全法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	倒産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	国際私法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
国際家族法	2	<input type="checkbox"/>				
国際財産法	2		<input type="checkbox"/>			
商事法	商法Ⅰ(総則・商行為)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	商法ⅡA(会社①)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	商法ⅡB(会社②)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	商法Ⅲ(保険)	2		<input type="checkbox"/>		
	商法Ⅳ(有価証券)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	金融商品取引法	2		<input type="checkbox"/>		

	経済法	2		<input type="checkbox"/>		
	知的財産法	2		<input type="checkbox"/>		
	国際取引法	2		<input type="checkbox"/>		
社会法	労働法Ⅰ(労働保護)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	労働法Ⅱ(労働組合)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	社会保障法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国際法	国際法Ⅰ(総論)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際法Ⅱ(各論)	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国際人権法	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
	国際機構法	2	<input type="checkbox"/>			
政治学	日本の政治	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	日本政治史	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	政治学原論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	政治過程論	2			<input type="checkbox"/>	
	比較政治	2			<input type="checkbox"/>	
	世界の政治	2		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	国際関係論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国際関係史	2			<input type="checkbox"/>	
	グローバル社会論	2		<input type="checkbox"/>		
	西洋政治思想史	2			<input type="checkbox"/>	
政策学	公共政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	行政学	2			<input type="checkbox"/>	
	地方自治論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地方財政論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域政策研究Ⅰ	2			<input type="checkbox"/>	
	地域政策研究Ⅱ	2			<input type="checkbox"/>	
スポーツ法政策	スポーツ法学	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツビジネスと法	2		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	スポーツ政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

		スポーツ文化論	2				<input type="checkbox"/>
		地域とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツマネジメント	2				<input type="checkbox"/>
		グローバル社会とスポーツ	2				<input type="checkbox"/>
法律学	特修特別講義	法律学特修特別講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		法律学特修特別講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		法律学特修特別講義Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		法律学特修特別講義Ⅳ	2	<input type="checkbox"/>			
		法律学特修特別講義Ⅴ	2	<input type="checkbox"/>			
スポーツ法政策特別講義		フィットネストレーニングの理論と実際	2				<input type="checkbox"/>
		ヘルスエクササイズの理論と実際	2				<input type="checkbox"/>
		スポーツ医学の理論と実際	2				<input type="checkbox"/>
		体力測定とスポーツ相談	2				<input type="checkbox"/>
外国人留学生対象科目		日本の法事情FⅠ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情FⅡ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情FⅢ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情FⅣ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情FⅤ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情FⅥ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演習・卒業研究		法学基礎演習Ⅰ	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		法学基礎演習Ⅱ	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		プレ専門演習	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		専門演習Ⅰ	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		専門演習Ⅱ	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		卒業研究	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教養科目	人文・社会科学系	文学	2				
		心理学	2				
		哲学	2				

	倫理学	2
	日本史概説	2
	世界史概説	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	社会学	2
	経済学概説	2
	経営学概説	2
自然・情報科学系	自然地理学	2
	公衆衛生論	2
	生物と環境	2
	情報リテラシー	1
	データサイエンス基礎	1
	データサイエンス実践	2
	数学基礎	1
国際教養系	英語基礎	1
	英語実践	1
	英語コミュニケーションⅠ	1
	英語コミュニケーションⅡ	1
	英語総合Ⅰ	1
	英語総合Ⅱ	1
	中国語基礎	1
	韓国語基礎	1
	日本語基礎	1
	日本語表現	1
	海外語学研修	2
人間力系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	スポーツ科学実習Ⅲ	1
	スポーツ教育基礎	2

	スポーツ科学概論	2
	スポーツ指導者入門	2
	スポーツトレーニングの基礎	2
	発育発達論	2
	スポーツ心理学	2
	スポーツ栄養学	2
	スポーツ医学の基礎	2
	スポーツの歴史	2
	スポーツ教育学	2
	◇スポーツプログラミング	2
	地域学入門	2
	北河内のまちづくりと行政	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
	キャリアデザイン基礎	1
	キャリアデザイン展開	1
	キャリアデザイン実践	1
	エンプロイメントデザイン	1
	インターンシップ基礎	2
	インターンシップ実践	1
	大学教養基礎Ⅰ	2
	大学教養基礎Ⅱ	2
	大学教養入門	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	数的能力開発Ⅱ	1
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2

	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人 留学生 対象科 目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解F	1
	日本語文法F	1
	日本語表現作文F	1
	日本語総合F	1
	専門日本語F	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
	日本語会話応用FⅠ	1
	日本語会話応用FⅡ	1
	日本語会話応用FⅢ	1
	日本語会話応用FⅣ	1
	日本語会話応用FⅤ	1
	日本語会話応用FⅥ	1
	日本語会話応用FⅦ	1
	日本語会話応用FⅧ	1
	日本語会話応用FⅨ	1
	日本語会話応用FⅩ	1
	日本語会話応用FⅩⅠ	1
帰国学 生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		法律学特修 コース	企業法務コ ース	地域政策コ ース	スポーツ法 政策コース
専門科 目	必修科目	20単位			
	選択必修科目	40単位以上			
	選択科目	26単位以上			
	合計	86単位以上			
教養科 目	選択必修科目	自然・情報科学系	1単位以上		
		国際教養系	3単位以上		
		人間力系	1単位以上		
	選択科目	人文・社会科学系	2単位以上		
		自然・情報科学ま たは人間力系	1単位以上		
		小計	26単位以上		
	合計	38単位以上			
総計	124単位以上				

2 専門科目のコース別履修区分の表示において、○は必修科目、□は選択必修科目、その他は選択科目を示す。また、教養科目の単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

3 各コースの所定単位数を超えて修得した専門科目の選択必修科目の単位数は、専門科目の選択科目の単位数として算入する。

4 授業科目の前に△を付した科目は、進級および卒業要件に含むことができない科目を示す。

6 経済学部

経済学科

区分			授業科目	単位数
専門科 目	共通科 目	コア科 目群	※経済学入門（エコノミックリテラシー）	②
			経済学入門演習	②
			※ミクロ経済学Ⅰ	②
			ミクロ経済学Ⅱ	2

		※マクロ経済学Ⅰ	2
		マクロ経済学Ⅱ	2
		※社会経済学Ⅰ	2
		社会経済学Ⅱ	2
		※統計学	2
		IT基礎論Ⅰ	2
		会計学入門	2
		簿記原理Ⅰ	2
		簿記原理Ⅱ	2
		日本経済史	2
		日本経済論	2
		財政学	2
		経済思想史	2
		ゲーム理論	2
		地球環境経済	2
		摂南経済ゲストレクチャー	2
		経営学	2
		民法	2
		商法	2
		行政法	2
		会社法	2
		労働法	2
		経済学特別講義Ⅰ	2
		経済学特別講義Ⅱ	2
		経済学特別講義Ⅲ	2
	データ・サイエンスプログラム群	IT基礎論Ⅱ	2
		プログラミング論	2
		経済情報論	2
		統計学演習	2
		計量経済学	2
		経済データサイエンスⅠ	2
		経済データサイエンスⅡ	2
		経済データサイエンスⅢ	2
分野別	入門科	ビジネス経済入門	2

科目	目群	金融・不動産経済入門	2
		地域経済入門	2
		観光学入門	2
		国際経済入門	2
	ビジネス経済群	行動経済学	2
		実験経済学	2
		労働経済学	2
		人事の経済学	2
		管理会計	2
		産業組織論	2
		サービス産業論	2
		ベンチャー起業論	2
	ビジネス経済実践演習	2	
	金融・不動産経済群	ファイナンシャル・プランニング	2
		国際投資論	2
		金融データ分析	2
		国際金融論	2
		現代ファイナンス論	2
		不動産ビジネス論	2
		都市経済論	2
		不動産経済学	2
	金融・不動産経済実践演習	2	
	地域経済群	公共政策論	2
		社会保障論	2
		地方自治論	2
		地方財政論	2
		関西経済論	2
		地域経済学	2
		地域まちづくり論	2
		地域金融論	2
	地域経済実践演習	2	

	観光経 済群	観光経済論	2
		サービス・マネジメント論	2
		観光マーケティング論	2
		レジャー産業論	2
		観光資源論	2
		観光産業政策論	2
		観光交通論	2
		交通経済論	2
		観光経済実践演習	2
		国際経 済群	貿易論
	国際協力論		2
	開発経済学		2
	経済グローバル化と日本社会		2
	現代国際経済事情		2
	地域統合論		2
	アメリカ経済論		2
	アジア経済論		2
	国際経済実践演習		2
	演習・ 卒業研究	基礎演習	④
		専門演習Ⅰ	④
専門演習Ⅱ		④	
卒業研究		④	
教養科目	人文科 学系	心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
	社会科	社会学	2

学系	法学入門	2
	日本国憲法	2
	日本の政治	2
	世界の政治	2
自然・ 科学技 術系	自然地理学	2
	教養生物	2
	公衆衛生学	2
	科学技術教養	2
英語系	基礎英語Ⅰa	1
	基礎英語Ⅱa	1
	実践英語Ⅰa	1
	実践英語Ⅱa	1
	ビジネスイングリッシュⅠ	1
	ビジネスイングリッシュⅡ	1
	英語基礎会話Ⅰ	①
	英語基礎会話Ⅱ	①
外国語 系	海外語学研修	2
日本語 系	日本語表現Ⅰ	1
	日本語表現Ⅱ	1
数理・ 情報系	数学基礎Ⅰ	1
	数学基礎Ⅱ	1
	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	①
キャリア アデザ イン系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	キャリアデザインⅢ	1
	エンプロイメントデザインⅠ	1
	エンプロイメントデザインⅡ	1
	インターンシップ	2

	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1

	帰国学 生対象 科目	日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
		日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	16単位	18単位以上	52単位以上	86単位以上
教養 科目	英語系、外 国語系、日 本語系、数 理・情報系、 スポーツ系	—	8単位以上	12単位以上
	人文科学 系、社会科 学系、自 然・科学技 術系、地域 志向系、教 養特別系	—	22単位以上	22単位以上
	キャリアデ ザイン系、 共通基礎系	—	3単位以上	4単位以上
計	43単位	8単位以上	73単位以上	124単位以上

2 授業科目の前に※を付した科目は必履修科目。

3 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

7 看護学部

看護学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎	人体の構造と機能Ⅰ	①
		人体の構造と機能Ⅱ	①
		人体の構造と機能Ⅲ	①
		代謝栄養学	①
		病理学総論	①
		感染と防御	①
		薬理学総論	①
		薬物治療学	①
		病院薬学演習	①
		カウンセリング論	2
		疾病・治療論Ⅰ	①
		疾病・治療論Ⅱ	①
		疾病・治療論Ⅲ	①
		疾病・治療論Ⅳ	①
		疾病・治療論Ⅴ	①
		疾病・治療論Ⅵ	①
		疫学	①
		保健医療福祉行政論	②
		公衆衛生学	①
		医療経済論	2
	看護関係法規	①	
	社会福祉論	1	
	基礎看護学	看護学概論	②
看護対人関係論		①	

	基礎看護技術Ⅰ	②
	基礎看護技術Ⅱ	②
	フィジカルアセスメント	②
	看護過程論	①
	家族看護学	①
	基礎看護学実習Ⅰ	①
	基礎看護学実習Ⅱ	②
地域・在宅看護学	公衆衛生看護学概論	②
	在宅看護学概論	①
	在宅看護学援助論Ⅰ	②
	在宅看護学援助論Ⅱ	①
	在宅看護学実習	②
成人看護学	成人看護学概論	②
	成人看護学援助論Ⅰ(急性)	①
	成人看護学援助論Ⅰ(慢性)	①
	成人看護学援助論Ⅱ(急性)	①
	成人看護学援助論Ⅱ(慢性)	①
	成人看護学実習(急性)	③
	成人看護学実習(慢性)	③
老年看護学	老年看護学概論	①
	老年看護学援助論Ⅰ	①
	老年看護学援助論Ⅱ	①
	老年看護学実習Ⅰ	①
	老年看護学実習Ⅱ	①
	老年看護学実習Ⅲ	②
小児看護学	小児看護学概論	①
	小児看護学援助論Ⅰ	①
	小児看護学援助論Ⅱ	①
	小児看護学実習	②
母性看護学	母性看護学概論	①

護学	母性看護学援助論Ⅰ	①
	母性看護学援助論Ⅱ	①
	母性看護学実習	②
精神看護学	精神看護学概論	①
	精神看護学援助論Ⅰ	①
	精神看護学援助論Ⅱ	①
看護の統合と実践	精神看護学実習	②
	看護倫理	①
	看護管理学	①
	看護教育学	1
	国際看護学	1
	海外医療セミナー	1
	災害看護論	1
	看護の探求	1
	看護研究Ⅰ	②
	看護研究Ⅱ	②
	総合看護学演習	①
総合看護学実習	②	
公衆衛生看護学(保健師課程)	学校保健	1
	産業保健	1
	保健統計学	1
	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	2
	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	2
	公衆衛生看護学演習Ⅰ	1
	公衆衛生看護学演習Ⅱ	1
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	1
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3	
助産学((助産師課程)	助産学概論	2
	助産診断・技術学Ⅰ	2
	助産診断・技術学Ⅱ	2

		助産診断・技術学Ⅲ	2
		助産診断・技術学Ⅳ	1
		地域母子保健	2
		助産技術学演習Ⅰ	1
		助産技術学演習Ⅱ	1
		助産技術学演習Ⅲ	1
		助産管理論	1
		助産学実習Ⅰ	1
		助産学実習Ⅱ	7
		助産学実習Ⅲ	1
教養科目	人文学系	倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		生命倫理	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		心理学	2
		文化人類学	2
		教育学	2
	社会科学系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		女性学	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
	自然・科学技術系	生物・化学の基礎	2
		教養数学	2
		生物と環境	2

	地学	2
	地学実験	2
英語系	英語Ⅰ	①
	英語Ⅱ	①
	英語Ⅲ	①
	英語Ⅳ	1
	英語Ⅴ	1
外国語系	中国語	1
	韓国語	1
日本語系	日本語表現法	①
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
	統計の基礎	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン	①
	キャリア入門	①
	患者安全	①
	患者コミュニケーション	①
	臨床医療演習	1
	先端医療演習	1
	地域医療実践演習	1
スポーツ系	スポーツ科学Ⅰ	①
	スポーツ科学Ⅱ	1
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基	大学教養入門	②

礎系		
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	85単位	7単位以上 (専門基礎から3単位以上を含む)	92単位以上
教養科目	13単位	23単位以上 (人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系から、各系2単位以上を含む16単位以上。英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系から3単位以上。キャリアデザイン系から1単位以上を含む。)	36単位以上
計	98単位	30単位以上	128単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

## 8 農学部

### イ 農業生産学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	化学	②
			化学演習	①
			生物学	②
生物学演習			①	

		農業生産学概論	②
		生命倫理	②
		物理学	2
		生物統計学	2
農業植 物・栽 培系		植物遺伝学	2
		作物機能形態学	2
		植物生理学	2
		植物育種学	②
		作物学	②
		野菜花卉園芸学	②
		植物育種方法論	2
		農作物学汎論	2
		果樹園芸学	2
		耕地生態学	2
		施設園芸学	2
	農業生 物・環 境系		植物病理学
		応用昆虫学	②
		土壌学	②
		植物感染機構学	2
		昆虫生理生態学	2
		植物無機栄養学	2
		多様性生物学	2
		土壌微生物学	2
		植物病害管理学	2
		害虫防除論	2
展開系		雑草管理学	2
		生態学	2
		産業動物学	2
		海洋生物学	2
		ゲノム分子生物学 I	2

		バイオテクノロジー	2
		生化学 I	2
		農業経営学	2
		食品産業論	2
		農畜産物流通論	2
		農業経営管理論	2
		6次産業経営論	2
		都市農業論	2
	実験・	化学実験	②
	実習系	生物学実験	②
		物理学実験	2
		農業生産学特別実習	1
		農業生産学基礎実験 I	②
		農業生産学基礎実験 II	②
		農業生産学専門実験	②
		農業生産学実習 I	②
		農業生産学実習 II	②
専門総	応用生	植物系生物学	2
合群	物系	微生物系生物学	2
		動物・海洋生物系生物学	2
	食品栄	食品の安全性	2
	養系	栄養とスポーツ	2
		社会と健康	2
	食農ビ	食と農の経済	2
	ジネス	フードシステム	2
	系	農業の多様性	2
ゼミ・卒業研		基礎ゼミナール	①
究		農業生産学研究	①
		卒業研究	⑥
教養科	語学系	日本語表現法	1

目		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
	情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	1
体育系	スポーツ科学 I	1	
	スポーツ科学 II	1	
人文系	心理学	2	
	倫理学	2	
	哲学から学ぶ	2	
	地誌学	2	
	人文地理学	2	
	文学から学ぶ	2	
	文化人類学	2	
	女性学	2	
社会系	ボランティア活動論	2	
	経済学入門	2	
	日本の政治	2	
	法学入門	2	
	経営学入門	2	
	観光学	2	
	日本国憲法	2	

自然系	教養数学	2
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ基礎	2
	インターンシップ実践	1
地域志向系	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解F	1
	日本語文法F	1
	日本語表現作文F	1
	日本語総合F	1
	専門日本語F	1
	日本語会話F	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1

	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	47単位	51単位以上 ① 農業植物・栽培系および農業生物・環境系から24単位以上 ② 専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	2単位	24単位以上 (語学系6単位以上を含む)	26単位以上
計	49単位	75単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 応用生物科学科

区分	授業科目	単位数
専門科目 共通群	農学概論	②
	農学基礎演習	①
	グローバル農業演習	2
	スマート農業演習	1
	農業気象学	2
	森林生態学	2
	農業知的財産	2
専門コア群 基礎系	化学	②
	生物学Ⅰ	②
	生物学Ⅱ	②
	生命倫理	②
	物理学	2
	生物統計学	2
	先端生物科学概論Ⅰ	2

		先端生物科学概論Ⅱ	2
植物系		バイオテクノロジー	②
		生物系統学	2
		ゲノム分子生物学Ⅰ	②
		植物分子生理学Ⅰ	②
		ゲノム機能学	2
		植物分子生理学Ⅱ	2
		ゲノム分子生物学Ⅱ	②
微生物系		生化学Ⅰ	②
		応用微生物学	②
		生態学	②
		生化学Ⅱ	2
		微生物工学	2
		共生ウイルス学	②
		植物共生微生物学	2
動物・海洋生物系		産業動物学	②
		動物機能学	②
		生体防御学	2
		生物情報学	2
		バイオインフォマティクス演習	2
		海洋生物学	②
		魚類学	2
		水圏生物利用化学	2
		水圏生態学	2
	農業系		植物遺伝学
		作物機能形態学	2
		野菜花卉園芸学	2
		植物病理学	2
		応用昆虫学	2
		土壌学	2

	実験・実習系	化学実験	②
		生物学実験	②
		物理学実験	2
		応用生物科学基礎実験Ⅰ	②
		応用生物科学基礎実験Ⅱ	②
		応用生物科学専門実験Ⅰ	②
		応用生物科学専門実験Ⅱ	②
専門総合群	農業生産系	昆虫と微生物	2
		農作物の育種と生産管理	2
		作物利用と生産基盤	2
	食品栄養系	食品の安全性	2
		栄養とスポーツ	2
		社会と健康	2
	食農ビジネス系	食と農の経済	2
		フードシステム	2
		農業の多様性	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
応用生物科学研究		①	
卒業研究		⑥	
教養科目	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1
		実践英語Ⅰ	1
		実践英語Ⅱ	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1

	海外語学研修	2
情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
	スポーツ科学Ⅱ	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ基礎	2
	インターンシップ実践	1
地域志向系	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2

	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解F	1
	日本語文法F	1
	日本語表現作文F	1
	日本語総合F	1
	専門日本語F	1
	日本語会話F	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	53単位	45単位以上 ① 植物系、微生物系および動物・ 海洋生物系から16単位以上 ② 専門総合群10単位以上(各系か ら2単位以上を含む)を含む	98単位以上

教養科目	2単位	24単位以上 (語学系6単位以上を含む)	26単位以上
計	55単位	69単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 食品栄養学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	生物学	②
			化学	②
			生命倫理	②
		社会・環境と健康	公衆衛生学	②
			健康管理概論	②
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医療福祉論	2
			解剖生理学	②
			臨床医学概論	2
			生化学	②
			微生物学	②
			分子生物学	2
			臨床病態学	2
			運動生理学	②
薬理学	2			
解剖生理学実習	①			
生化学実験	①			
微生物学実験	1			

食べ物 と健康	食品学総論	②
	食品学各論	②
	食品衛生学	②
	食品加工学	2
	調理学	②
	食品学実験Ⅰ	①
	食品学実験Ⅱ	①
	基礎科学実験	1
	食品衛生学実験	①
	食品加工学実習	1
	調理学実習Ⅰ	①
	調理学実習Ⅱ	①
	基礎栄 養学	基礎栄養学
	基礎栄養学実習	①
応用栄 養学	応用栄養学Ⅰ	②
	応用栄養学Ⅱ	②
	応用栄養学Ⅲ	2
	応用栄養学実習	①
栄養教 育論	栄養教育論Ⅰ	②
	栄養教育論Ⅱ	②
	栄養教育論Ⅲ	2
	栄養教育論実習	①
臨床栄 養学	臨床栄養学Ⅰ	②
	臨床栄養学Ⅱ	2
	臨床栄養学Ⅲ	2
	臨床栄養学Ⅳ	2
	栄養薬理学	2
	臨床栄養学実習Ⅰ	①
	臨床栄養学実習Ⅱ	1
	臨床栄養学実習Ⅲ	1

	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②	
		公衆栄養学Ⅱ	2	
		公衆栄養学実習	①	
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	②	
		給食経営管理論Ⅱ	2	
		給食経営管理実習	①	
	総合演習	臨地実習指導(演習)	1	
		管理栄養士総合演習	1	
	臨地実習	給食運営実習(校外)	①	
		臨地実習Ⅰ(給食経営管理論)	1	
		臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)	1	
		臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	2	
		臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	3	
	専門総合群	農業生産系	昆虫と微生物	2
			農作物の育種と生産管理	2
			作物利用と生産基盤	2
		応用生物系	植物系生物学	2
			微生物系生物学	2
			動物・海洋生物系生物学	2
		食農ビジネス系	食と農の経済	2
フードシステム			2	
農業の多様性			2	
ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①		
	食品栄養学研究	①		
	卒業研究	⑥		
教養科目	語学系	日本語表現法	1	
		基礎英語Ⅰa	1	
		基礎英語Ⅰb	1	
		基礎英語Ⅱa	1	
		基礎英語Ⅱb	1	

	実践英語Ⅰ	1
	実践英語Ⅱ	1
	英語基礎会話a	1
	英語基礎会話b	1
	中国語Ⅰ	1
	中国語Ⅱ	1
	海外語学研修	2
情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
	スポーツ科学Ⅱ	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2

キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ基礎	2
	インターンシップ実践	1
	臨床医療演習	1
	臨床医療実践演習	1
	セルフメディケーション演習	1
地域志向系	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解F	1
	日本語文法F	1
	日本語表現作文F	1
	日本語総合F	1
	専門日本語F	1
	日本語会話F	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1

	日本語会話R	1
--	--------	---

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	67単位	31単位以上 ① 専門コア群14単位以上 ② 専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	2単位	24単位以上 (語学系6単位以上を含む)	26単位以上
計	69単位	55単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 食農ビジネス学科

区分	授業科目	単位数		
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	食農ビジネス学概論	②
			食と農の倫理	②
			基礎経済学	②
			アグロ・エコロジー論	②
			基礎統計学	②
			食と農の近現代史	②
			ミクロ経済学	②
マクロ経済学	②			
	簿記基礎	2		

		社会調査論	2
		食農ビジネス最前線	2
農業経 済・経 営・政 策系	農業経 済系	農業経営学	②
	経済系	食料・農業経済学	②
	政策系	食料・農業・農村政策論	②
		農業経営管理論	②
		農村社会学	2
		6次産業経営論	2
		地域マネジメント論	2
		地域環境経済論	2
		食農ビジネス実践論	②
	食品産 業・流 通系	食品産 業系	フードシステム論
流通系		食品産業論	②
		食料・農業市場論	②
		農畜産物流通論	2
		水産物流通論	2
		農水産物マーケティング論	2
		食品表示・認証論	2
		女性起業論	2
		食品産業経営戦略論	②
食農共 生・循 環型農 業系	食農共 生系	食農共生論	②
	循環型農 業系	循環型農業論	②
		食農教育論	②
		協同組合論	2
		都市農業論	2
		非営利協同論	2
		有機農業論	2
		農村コミュニティビジネス論	②

	国際農業系	比較農業論	②	
		国際農業論	2	
		農業開発論	2	
		現代韓国農業論	2	
		現代中国農業論	2	
	専門総合群	農業生産系	昆虫と微生物	2
			農作物の育種と生産管理	2
			作物利用と生産基盤	2
		応用生物学	植物系生物学	2
			微生物系生物学	2
			動物・海洋生物系生物学	2
		食品栄養系	食品の安全性	2
			栄養とスポーツ	2
			社会と健康	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①	
		食農ビジネス学基礎演習Ⅰ	②	
		食農ビジネス学基礎演習Ⅱ	②	
		食農ビジネス学基礎演習Ⅲ	②	
		食農ビジネス学研究Ⅰ	②	
		食農ビジネス学研究Ⅱ	②	
卒業研究		⑥		
教養科目	語学系	日本語表現法	1	
		基礎英語Ⅰa	1	
		基礎英語Ⅰb	1	
		基礎英語Ⅱa	1	
		基礎英語Ⅱb	1	
		実践英語Ⅰ	1	
		実践英語Ⅱ	1	
		英語基礎会話a	1	
		英語基礎会話b	1	

	中国語Ⅰ	1
	中国語Ⅱ	1
	海外語学研修	2
情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
	スポーツ科学Ⅱ	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	教養生物	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1

		インターンシップ基礎	2
		インターンシップ実践	1
地域志向系		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
教養特別系		教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生 対象科目		日本事情FⅠ	2
		日本事情FⅡ	2
		日本語読解F	1
		日本語文法F	1
		日本語表現作文F	1
		日本語総合F	1
		専門日本語F	1
		日本語会話F	1
帰国学生対象 科目		日本事情RⅠ	2
		日本事情RⅡ	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	42単位	56単位以上 ① 専門コア群26単位以上(選択必	98単位以上

		修科目Aから2単位、選択必修科目B科目から10単位以上を含む) ② 専門総合群10単位以上(各系から2単位以上を含む)を含む	
教養科目	4単位	22単位以上 (語学系6単位以上を含む)	26単位以上
計	46単位	78単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、◇で囲んだ授業科目は選択必修科目A、□で囲んだ授業科目は選択必修科目B、他は選択科目を示す。

## 9 現代社会学部

### 現代社会学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	基礎科目	現代社会学入門	②
		現代社会の諸問題	②
		社会学説史	2
		社会心理学	2
		環境社会学	2
		都市計画論	2
		メディア社会学	2
		文化社会学	2
		日本社会変動史	2
		自我と関係の社会学	2
		スポーツ社会学	2
		地域福祉論	2
		地域社会学	2
		産業労働社会学	2
		情報社会論	2
		福祉社会学	2
ジェンダー論	2		
家族社会学	2		

		社会運動・ボランティア論	2	
		子どもと教育の社会学	2	
		国際社会学	2	
		臨床心理学	2	
		地域スポーツ論	2	
社会調査士関 連科目		社会調査入門	②	
		社会調査法	②	
		基礎統計学	②	
		社会統計学	2	
		多変量解析法	2	
		質的調査法	2	
		社会調査実習 I (量的)	2	
		社会調査実習 I (質的)	2	
		社会調査実習 II (量的)	2	
	社会調査実習 II (質的)	2		
FAL科目		FAL入門	②	
		FAL実践	2	
		FAL演習 I	2	
		FAL演習 II	2	
		FAL演習 III	2	
		FAL演習 IV	2	
展開科目		社会構造変動史	②	
		日常生活世界論	②	
	ソーシ	地域社会形成論	2	
	ヤルイ	人間環境の社会学	2	
	ノバー	階層構造変動史	2	
	ション	自然と科学の社会学	2	
	科目群		エスニシティ論	2
			教育の歴史社会学	2
			政治文化の社会学	2

		SDGsと国際社会	2	
	ライフ	生涯スポーツ論	2	
	デザイ	思春期・若者論	2	
	ン科目 群	犯罪・非行の社会学	2	
		仕事とくらしの社会学	2	
		ジェロントロジー	2	
		都市住宅論	2	
		観光地域福祉論	2	
		ヘルスプロモーション論	2	
		メディ	ビデオ・エスノグラフィー	2
		アコミ	司法・犯罪心理学	2
	ユニケ	地域メディア論	2	
	ーショ	差別の社会学	2	
	ン科目 群	身体とコミュニケーション	2	
		広報メディア論	2	
		映画を読み解く社会学	2	
		ジャーナリズム論	2	
	演習・卒業研 究	初年次ゼミ	②	
		初年次演習	②	
		基礎演習Ⅰ	②	
		基礎演習Ⅱ	②	
		専門演習Ⅰ	②	
		専門演習Ⅱ	②	
		卒業研究Ⅰ	③	
		卒業研究Ⅱ	③	
教養科 目	人文科学系	日本の歴史	2	
		世界の歴史	2	
		心理学Ⅰ	2	
		心理学Ⅱ	2	
		哲学Ⅰ	2	

	哲学Ⅱ	2
	人文地理学	2
	地誌学	2
	文学から学ぶ	2
社会科学系	法学入門	2
	日本国憲法	2
	日本の政治	2
	経済学入門	2
	世界の政治	2
	経営学入門	2
自然・科学技 術系	公衆衛生学	2
	自然地理学	2
	科学技術教養	2
英語系	基礎英語Ⅰa	①
	基礎英語Ⅱa	1
	英語基礎会話Ⅰ	1
	英語基礎会話Ⅱ	1
	実践英語Ⅰa	1
	実践英語Ⅱa	1
	時事英語Ⅰ	1
	時事英語Ⅱ	1
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語基礎	①
	日本語表現	1
数理・情報系	データサイエンス基礎	①
	情報リテラシー	1
	数学基礎	①
キャリアデザ イン系	キャリア基礎	①
	キャリアデザイン	1
	インターンシップ	2

	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
共通基礎系	大学教養入門	②
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
外国人留学生 対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象 科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	34単位	52単位以上 (基礎科目から16単位以上、FAL科目から2単位以上、展開科目から18単位以上(各科目群から2単位以上を含む)を含む)	86単位以上
教養科目	7単位	31単位以上	38単位以上
計	41単位	83単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数

授業科目	単位数
職業指導	4
職業指導Ⅰ	2
職業指導Ⅱ	2
理科教育法Ⅰ	2
理科教育法Ⅱ	2
理科教育法Ⅲ	2
理科教育法Ⅳ	2
工業科教育法Ⅰ	2
工業科教育法Ⅱ	2
数学科教育法Ⅰ	2
数学科教育法Ⅱ	2
数学科教育法Ⅲ	2
数学科教育法Ⅳ	2
英語科教育法Ⅰ	2
英語科教育法Ⅱ	2
英語科教育法Ⅲ	2
英語科教育法Ⅳ	2
商業科教育法	4

情報科教育法	4
社会科教育法Ⅰ(地歴分野)	2
社会科教育法Ⅱ(地歴分野)	2
社会科教育法Ⅲ(公民分野)	2
社会科教育法Ⅳ(公民分野)	2
農業科教育法Ⅰ	2
農業科教育法Ⅱ	2
学校栄養指導論Ⅰ	2
学校栄養指導論Ⅱ	2
教育原理	2
教師論	2
教育経営論	2
教育心理学	2
特別支援教育論	2
教育課程論	2
道德教育論	2
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2
教育方法論	2
教育における情報通信技術の活用	1
生徒指導論(進路指導を含む)	2
教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2
教育実習Ⅰ	1
教育実習Ⅱ	2
教育実習Ⅲ	4
栄養教育実習Ⅰ	1
栄養教育実習Ⅱ	1
教職実践演習(中・高)	2
教職実践演習(栄養教諭)	2
地域連携教育活動Ⅰ	2
地域連携教育活動Ⅱ	2

別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科

1 中学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
社会	法学部法律学科 経済学部経済学科 現代社会学部現代社会学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子情報工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
英語	国際学部国際学科

2 高等学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
公民	法学部法律学科 経済学部経済学科 現代社会学部現代社会学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子情報工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科

	応用生物科学科
情報	経営学部経営学科
工業	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子情報工学科 都市環境工学科
商業	経営学部 経営学科
農業	農学部農業生産学科
英語	国際学部国際学科

### 3 栄養教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
栄養教諭	農学部食品栄養学科

### 別表第3

#### 学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

科目・年次		金額					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
理工学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,290,000	1,290,000	1,290,000	1,290,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
国際学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	980,000	980,000	980,000	980,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経営学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—

薬学部	入学金	450,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
法学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経済学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
看護学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
農学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料						
	農業生産	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	応用生物科	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食品栄養	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食農ビジネス	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—	—
	教育充実費						
	農業生産	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	応用生物科	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	食品栄養	130,000	230,000	230,000	230,000	—	—
食農ビジネス	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
現代社会 学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	945,000	945,000	945,000	945,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—

2 履修に特別の経費を要する場合は、これを当該課程の履修者から徴収することがある。

その場合の金額および納期は、別に定める。

3 学費の額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

別表第4

研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	410,000	年額
国際学部	310,000	〃
経営学部	315,000	〃
薬学部	660,000	〃
法学部	315,000	〃
経済学部	315,000	〃
看護学部	550,000	〃
農学部	410,000	〃
現代社会学部	315,000	〃

別表第5

履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1単位あたり
国際学部	15,000	
経営学部		
薬学部	25,000	
法学部	15,000	
経済学部		
看護学部	25,000	
農学部	20,000	
現代社会学部	15,000	

別表第6

在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000

国際学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		
現代社会学部		

○摂南大学大学院学則（案）

昭和63年3月23日

学園104

第1章 総則

（設置）

第1条 摂南大学に大学院を置く。

（目的）

第2条 摂南大学大学院(以下「本大学院」という)は、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とする。

（課程）

第3条 本大学院に修士課程および博士課程を置く。

2 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

3 博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

4 博士課程は、前期課程と後期課程に区分し、博士前期課程はこれを修士課程として取扱うものとする。ただし、薬学研究科においては、前期、後期に区分しない。

（研究科、専攻および教育研究上の目的）

第4条 本大学院につきの研究科を置き、専攻を設ける。

研究科名	専攻名	課程
薬学研究科	医療薬学専攻	博士課程
理工学研究科	社会開発工学専攻	博士前期課程
	生産開発工学専攻	
	生命科学専攻	博士前期課程
		博士後期課程
	創生工学専攻	博士後期課程
経済経営学研究科	経済学専攻	修士課程
	経営学専攻	修士課程
法学研究科	法律学専攻	修士課程

国際言語文化研究科	国際言語文化専攻	修士課程
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程
		博士後期課程
農学研究科	農学専攻	博士前期課程
		博士後期課程

- 2 薬学研究科医療薬学専攻は、医療現場での臨床的課題等を対象とする研究を通して薬学分野の高度な知識・技能・態度を修得し、高度な医療に応えることができる優れた研究能力を有する薬学研究者および薬剤師等の育成を目的とする。
- 3 理工学研究科社会開発工学専攻は、建設および建築に環境保全を加えた社会開発について、高度な専門能力を持つ人材を養成することを目的とする。
- 4 理工学研究科生産開発工学専攻は、機械工学や電気電子工学を基盤として、材料・物性、エネルギー、システム制御、情報・通信、生産・加工等の広範囲の領域について、高度な専門能力を持つ人材を養成することを目的とする。
- 5 理工学研究科生命科学専攻は、分子生命科学や生体生命科学を修得し、医療、環境、食糧等の分野において、高度な専門能力を持つ人材を養成することを目的とする。
- 6 理工学研究科創生工学専攻は、工業製品から都市・建築に関わる構造物までの広範囲なモノづくりにおいて、新しい価値の創生と技術革新を担い得る高度な知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 7 経済経営学研究科経済学専攻は、国際経済、地域経済、観光経済を中心とした現代経済学の高度な理論および実証分析の方法を修得し、地域社会・国際社会に貢献できる高度専門職業人を養成することを目的とする。
- 8 経済経営学研究科経営学専攻は、企業経営、会計、経営情報に関する高度な専門知識と社会の変化を的確に捉えて理解する知識を身につけ、外部環境の変化に柔軟に対応できる高度専門職業人を養成することを目的とする。
- 9 法学研究科法律学専攻は、高度の法学知識を身につけた専門職業人として、実務と理論に強い組織内型法律実務専門家およびパラリーガルと呼ばれる広義の独立型法律実務専門家を養成することを目的とする。
- 10 国際言語文化研究科国際言語文化専攻は、国際化により世界が直面している複雑な諸問題の解決に貢献できるよう、語学力を身につけるとともに異文化を深く理解し、高度な専門知識を持つ人材を養成することを目的とする。
- 11 看護学研究科看護学専攻は、看護のあらゆる場において、地域社会の在り方や文化を

踏まえた上で、多様な人々と協働して多様化、複雑化したこれからの社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

- 12 農学研究科農学専攻は、自然科学から社会科学まで幅広いアプローチにより、「食」と「農」に関わる高度な専門知識・技術を修得し、広い視野と高い倫理観を身につけ、国内外の諸問題の解決や地域社会および国際社会の発展に貢献できる人材を養成する。

(修業年限)

第5条 修士課程の修業年限は、2年とする。

- 2 博士課程の標準修業年限は5年とし、博士前期課程の修業年限は2年、博士後期課程の修業年限は3年とする。ただし、薬学研究科博士課程の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第6条 修士課程には、4年を超えて在学することができない。

- 2 博士前期課程には4年、博士後期課程には6年を超えて在学することができない。ただし、薬学研究科博士課程の在学年限は8年とする。

(収容定員)

第7条 本大学院の収容定員は、つぎのとおりとする。

研究科名	専攻名	博士前期課程または修士課程		博士後期課程または薬学研究科博士課程		合計収容定員
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
薬学研究科	医療薬学専攻	—	—	4名	16名	16名
理工学研究科	社会開発工学専攻	12名	24名	—	—	24名
	生産開発工学専攻	12名	24名	—	—	24名
	生命科学専攻	10名	20名	2名	6名	26名
	創生工学専攻	—	—	2名	6名	6名
	計	34名	68名	4名	12名	80名
経済経営学研究科	経済学専攻	5名	10名	—	—	10名
	経営学専攻	5名	10名	—	—	10名
	計	10名	20名	—	—	20名
法学研究科	法律学専攻	5名	10名	—	—	10名

国際言語文化 研究科	国際言語文化専攻	5名	10名	—	—	10名
看護学研究科	看護学専攻	4名	8名	2名	6名	14名
農学研究科	農学専攻	20名	40名	3名	9名	49名
合計		78名	156名	13名	43名	199名

## 第2章 教員組織

### (教員組織)

第8条 本大学院に教育研究上の目的を達成するため、研究科および専攻の規模ならびに授与する学位に応じ、必要な教員を置く。

2 研究科および専攻においては、教員の適切な役割分担および連携体制を確保し、組織的な教育を行うものとする。

### (授業および研究指導の担当)

第9条 本大学院の授業および学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という)は、本大学院教員がこれにあたる。

2 専攻の授業科目を担当する教員を指導教員とし、学生の本大学院における研究指導にあたるものとする。

3 必要により他の大学院もしくはその他の大学院教員有資格者に、授業の担当を依頼することができる。

## 第3章 運営組織

### (大学・大学院運営会議)

第10条 本大学院の教育研究に関する重要な事項を審議するため大学・大学院運営会議を置く。

2 大学・大学院運営会議に関する事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

### (学長戦略会議)

第10条の2 本大学院の将来計画および教育研究・管理運営に関する重要な事項を協議するため学長戦略会議を置く。

2 学長戦略会議に関する事項は、学長戦略会議規定に定める。

### (研究科長)

第11条 研究科に研究科長を置く。

2 研究科長は、基礎となる学部の学部長をもってあてる。

3 研究科長は、研究科に関する事項を掌理する。

(研究科委員会)

第12条 本大学院の各研究科に研究科委員会を置く。

- 2 研究科委員会は、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - イ 学生の入学および課程の修了に関すること
  - ロ 学位の授与に関すること
  - ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの
- 3 研究科委員会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 その他各研究科の研究科委員会について必要な事項は、各研究科の研究科委員会規定に定める。

第4章 教育方法等

(教育方法)

第13条 本大学院における教育は、授業科目の授業および研究指導によって行う。

- 2 前項の授業および研究指導にあたっては、その方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示する。
- 3 第1項に定める授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 5 第1項の授業の一部を、校舎および付属施設以外の場所で行うことができる。

(教育方法改善のための組織的な研修等)

第13条の2 本大学院は、授業および研究指導の内容ならびに方法等の改善を図るため、組織的な研修および研究を行う。

(授業科目、研究指導分野、単位および履修方法)

第14条 研究科における授業科目、研究指導分野、単位および履修方法は別表第1のとおりとし、履修について必要な事項は、別に定める。

(履修科目の選定および申請)

第15条 学生は、指導教員の指導を受けて履修しようとする授業科目を選定し、指導教員

の承認を経て所定の期日までに申請しなければならない。

(教育職員免許状)

第15条の2 本大学院において、教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項に定める免許状の種類および免許教科は、つぎのとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
理工学研究科	社会開発工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業
	生産開発工学専攻		
	生命科学専攻 (博士前期課程)	(イ) 中学校教諭専修免許状 (ロ) 高等学校教諭専修免許状	理科
国際言語文化 研究科	国際言語文化専攻	(イ) 中学校教諭専修免許状 (ロ) 高等学校教諭専修免許状	英語
看護学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	養護教諭専修免許状	養護教諭
農学研究科	農学専攻	(イ) 中学校教諭専修免許状	理科
	(博士前期課程)	(ロ) 高等学校教諭専修免許状	

3 免許状授与の所要資格の取得方法については、別に定める。

(他の大学院等の授業科目の履修)

第16条 研究科委員会において、教育上有益と認めるときは、前条にかかわらず、他の大学院または本大学院の他の研究科との協議に基づき、学長の許可を得て、学生に当該他大学院または他研究科の授業科目を履修させることができる。

2 研究科長は、教育上有益と認めたときは、所属する研究科内の自専攻以外の専攻の授業科目を履修させることができる。

3 前2項により履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科で定める所定の単位を超えない範囲で、本大学院における課程修了の要件となる単位として認めることができる。

(他の大学院等における研究指導)

第17条 研究科委員会において、教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学院または研究所等(以下「他の大学院等」という)との協議に基づき、学長の許可を得て、当該他の大学院等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。

2 修士課程または博士前期課程の学生について認める場合は、当該研究指導を受ける期間は1年を限度とする。

(外国の大学院等への留学)

第18条 研究科委員会が教育研究上有益と認めるときは、学長の許可を得て、学生を外国の大学院等に留学させることができる。

2 第16条の規定は、学生が前項の規定により留学する場合に準用する。

3 第1項の許可を得て留学した期間は、本大学院における課程修了の要件としての修業年限に算入することができる。

(試験および成績の評価)

第19条 履修した授業科目の試験は、所定の期間内に行う。ただし、平常の成績をもって試験の成績に代えることがある。

2 試験の成績は、「5(100～80点)・4(79～70点)・3(69～60点)・2(59点以下)・×(受験せず)」の5種の評語をもって表わし、「5・4・3」を合格、「2・×」を不合格とする。

3 演習、研修および特別研究は、単に合格または不合格をもって示すことがある。

(単位の認定)

第20条 授業科目を履修し合格した者には、所定の単位を与える。

#### 第5章 課程の修了要件および学位

(課程の修了要件)

第21条 博士前期課程または修士課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学して、所定の授業科目について第4項に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、第4条に定める教育研究上の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 博士課程の修了要件は、当該課程に大学院設置基準(昭和49年6月20日文部省令第28号)第17条に定める期間以上在学して、所定の授業科目について第4項に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格することとする。

3 薬学研究科博士課程の修了要件は、当該課程に4年以上在学し、第4項に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

4 修了に必要な授業科目の単位数については、つぎのとおりとする。

区分		単位数
博士前期課程または修士課程		30単位以上
博士後期課程	理工学研究科	22単位以上
	看護学研究科	19単位以上
	農学研究科	22単位以上
博士課程	薬学研究科	30単位以上

(学位論文の審査等)

第22条 前条の学位論文の審査等に必要な事項は、学位規定に定める。

(最終試験)

第23条 最終試験は、学位論文を中心として、その関連する分野について口述または筆記により行う。

2 最終試験に関し必要な事項は、研究科委員会において定める。

(学位の授与)

第24条 第21条により本大学院の課程を修了した者には、つぎの学位を授与する。

研究科名	専攻名	課程	学位
薬学研究科	医療薬学専攻	博士課程	博士(薬学)
理工学研究科	社会開発工学専攻	博士前期課程	修士(工学)
	生産開発工学専攻		
	生命科学専攻	博士前期課程	修士(理学)
	創生工学専攻	博士後期課程	博士(工学)
	生命科学専攻	博士後期課程	博士(理学)
経済経営学研究科	経済学専攻	修士課程	修士(経済学)
	経営学専攻	修士課程	修士(経営学)
法学研究科	法律学専攻	修士課程	修士(法学)
国際言語文化研究科	国際言語文化専攻	修士課程	修士(文学)
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程	修士(看護学)
		博士後期課程	博士(看護学)
農学研究科	農学専攻	博士前期課程	修士(農学)
		博士後期課程	博士(農学)

- 2 前項に定める者のほか、博士の学位を得るための審査を請求した者については、本大学院の行う博士論文の審査および試験に合格し、かつ、本大学院の博士課程を修了した者と同等以上の学力を有する者と確認されたとき、博士の学位を授与する。
- 3 前2項に定めるほか、学位授与の要件その他の学位に関し必要な事項は、学位規定に定める。

## 第6章 学年および休業日

### (学年)

第25条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### (学期)

第26条 学年をつぎの2学期に分ける。

イ 前期 4月1日から9月30日まで

ロ 後期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 必要がある場合、学長は、前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。

### (休業日)

第27条 休業日は、つぎのとおりとする。

イ 日曜日

ロ 国民の祝日に関する法律に規定する休日

ハ 本学園創立記念日 10月30日

ニ 春期休業日 3月25日から4月4日まで

ホ 夏期休業日 8月1日から9月18日まで

ヘ 冬期休業日 12月23日から翌年1月7日まで

- 2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

## 第7章 入学、休学、復学、退学、再入学、転学、転入学および除籍

### (入学の時期)

第28条 入学の時期は、学年の始めとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第26条に定める学期の区分に従い、学生を入学させることができる。

### (入学資格)

第29条 本大学院の博士前期課程または修士課程に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当し、本大学院が行う選考のための試験に合格した者とする。

- イ 学校教育法に定める大学を卒業した者
- ロ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ハ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ニ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ホ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ヘ 文部科学大臣の指定した者
- ト 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者

2 本大学院の博士後期課程に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当し、本大学院が行う選考のための試験に合格した者とする。

- イ 修士の学位または専門職学位を有する者
- ロ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ハ 文部科学大臣の指定した者
- ニ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者

3 本大学院の薬学研究科博士課程に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当し、本大学院が行う選考のための試験に合格した者とする。

- イ 6年制薬学部を卒業した者
- ロ 修士の学位または専門職学位を有する者
- ハ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ニ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が5年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ホ 文部科学大臣の指定した者
- ヘ 2005年度以前の4年制薬学部の課程を卒業し、かつ、3年以上の社会での実務経験を有し、6年制薬学部を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ト その他本大学院が上記イあるいはロと同等以上の学力があると認めた者

4 第1項ト号、第2項ニ号ならびに前項へ号およびト号の学力検査は、研究科委員会がこれを行う。

5 第2項により出願した者の、当該出身大学院において修得した単位の認否については、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(入学の出願)

第30条 本大学院に入学を志願する者は、指定の期日までに、所定の出願書類に第43条に定める入学検定料を添えて、学長に願い出なければならない。

(入学者の選考)

第31条 前条の入学志願者の選考は、研究科委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第32条 前条による選考に合格した者は、指定の期日までに第44条に定める学費を納入し、かつ、所定の書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ、入学の宣誓をしなければならない。

(休学)

第33条 病気その他のやむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、所定の休学願に理由を証明する書類を添えて提出し、研究科長の許可を得て休学することができる。

2 研究科長は、病気のため修学することが適当でないと認められる者については、研究科委員会の議を経て、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第34条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、博士前期課程または修士課程は通算して2年、博士後期課程は通算して3年、薬学研究科博士課程は通算して4年を、それぞれ超えることができない。

3 休学期間は、第6条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第35条 休学期間が満了したとき、または休学期間中にその理由が消滅したときは、研究科長の許可を得て復学することができる。

(退学)

第36条 病気その他やむを得ない理由のため退学しようとする者は、研究科長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。なお、病気による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

2 退学しようとする者は、その学期の学費を納入しなければならない。

(再入学)

第37条 正当な理由で退学した者および第40条イ号、ロ号またはハ号に該当する者が、再入学を願い出たときは、学長は定員に余裕のある場合に限り、選考のうえこれを許可することができる。

2 すでに履修した授業科目および修得した単位の取扱いならびに在学年限については、研究科委員会の議を経て、研究科長が定める。

(転学)

第38条 本大学院から他の大学院へ転学しようとする者は、所定の転学願にその理由を具して、学長に願い出て許可を受けなければならない。

(転入学)

第39条 他の大学院の学生が本大学院に転入学を願い出たときは、学長は定員に余裕のある場合に限り、選考のうえこれを許可することができる。

2 前項の規定により転入学を志願するときは、在籍する大学院の学長または研究科長の許可書を願書に添付しなければならない。

(除籍)

第40条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長がこれを除籍する。

イ 所定の期日までに学費を納入しない者

ロ 休学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者

ハ 休学期間満了前までに、復学を願い出ない者

ニ 第6条に定める在学年限を超えた者

ホ 第34条第2項に定める休学期間を超えた者

へ 他の大学院、大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者

ト 死亡確認された者

## 第8章 賞罰

(表彰)

第41条 表彰に値する行為があった学生には、表彰する。

2 表彰については、摂南大学学生の学園生活規定に定める。

(懲戒)

第42条 本大学院学則および諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

2 懲戒の種類は、譴責、停学および放学とする。

3 放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行う。

イ 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

ロ 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

ハ 正当な理由がなくて出席が常でない者

ニ 本大学院の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 第9章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第43条 入学検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(学費等)

第44条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第2のとおり定める。ただし、長期履修学生の学費の額については、摂南大学大学院長期履修学生規定に定める。

2 学費は、所定の期日までに納入しなければならない。

3 休学中の学費は、休学開始日の属する期の翌期から免除する。ただし、別表第3に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。

4 休学中の学費等の取扱いについては、大学院学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料および学費等)

第45条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、大学院学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第46条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、大学院学費納入規定に定める。

(科目等履修生等の学費等の額)

第47条 科目等履修生および特別聴講学生の履修料ならびに特別研究学生の研究料ならびに外国人留学生および外国人特別留学生の学費の額等は、別に定める。

#### 第10章 科目等履修生、特別聴講学生、特別研究学生、外国人留学生、外国人特別

留学生および長期履修学生

(科目等履修生)

第48条 研究科の授業科目中、1科目または数科目を選んで履修を志願する者があるときは、授業および研究に支障のない限り選考のうえ、これを許可することができる。

(特別聴講学生)

第49条 他の大学院の学生で、本大学院の授業科目の履修を志願する者があるときは、本大学院の研究科と当該他大学院との協議に基づき、学長の許可を得て、特別聴講学生として受け入れることができる。

(特別研究学生)

第50条 他の大学院に在学する学生で、本大学院において研究指導を受けようとする者があるときは、本大学院の研究科と当該他大学院との協議に基づき、学長の許可を得て、特別研究学生として受け入れることができる。

2 修士課程または博士前期課程の学生を特別研究学生として受け入れる場合は、受入期間は1年を超えないものとする。

(外国人留学生)

第51条 外国人で本大学院に入学を志願する者があるときは、研究科委員会の意見を聴いて、選考のうえ、学長の許可を得て、外国人留学生としてこれを許可することができる。

(外国人特別留学生)

第52条 外国の大学院の学生で、本大学院における授業科目の履修または研究指導を受けようとする者があるときは、本大学院の研究科と当該外国の大学院との協議に基づき、学長の許可を得て、外国人特別留学生として受け入れることができる。

(長期履修学生)

第52条の2 社会人等に、大学院での学修機会を広げるために、長期履修制度を設ける。長期履修制度を導入する研究科は、摂南大学大学院長期履修学生規定に定める。

2 各研究科において、第5条第1項および第2項に定める修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを目的として、入学を願い出る者があるときは、当該研究科委員会の意見を聴いて学長が長期履修学生として入学を許可することができる。

3 長期履修制度を導入する研究科において、長期履修学生が第5条第1項および第2項に定める修業年限に、または第5条第1項および第2項に定める修業年限とする学生が長期履修学生に、変更を願い出た場合は、所属または入学を希望する研究科委員会の意見を聴

いて学長が許可することができる。

(科目等履修生等に関する規定)

第53条 科目等履修生、特別聴講学生、特別研究学生、外国人留学生、外国人特別留学生および長期履修学生に関する規定は、別に定める。

#### 第11章 その他

(在学期間中の有職)

第54条 研究科委員会において、就学に支障がないと認めた場合、学生が在学中に職を有することを認めることがある。

(準用)

第55条 本大学院学則に定めるもののほか、必要な事項については、摂南大学学則を準用する。

(学則の改廃)

第56条 本大学院学則の改廃は、大学・大学院運営会議および研究科委員会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

#### 付 則

1 本大学院学則に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

2 本大学院学則は、昭和63年4月1日より施行する。

3

イ この改正学則は、2026年4月1日から施行する。

ロ 薬学研究科の2016年度以前の入学者にかかる授業科目、研究指導分野、単位および履修方法については、なお従前の例による。

ハ 法学研究科の2022年度以前の入学者にかかる授業科目、研究指導分野、単位および履修方法については、なお従前の例による。

ニ 経済経営学研究科の2018年度以前の入学者にかかる教育職員免許状については、なお従前の例による。

ホ 理工学研究科の2024年度以前の入学者にかかる授業科目、研究指導分野、単位および履修方法については、なお従前の例による。

ヘ 国際言語文化研究科の2020年度以前の入学者にかかる授業科目、研究指導分野、単位および履修方法については、なお従前の例による。

ト 看護学研究科の2025年度以前の入学者にかかる授業科目、研究指導分野、単位および履修方法については、なお従前の例による。

チ 2019年度以前の入学者の学費の金額については、なお従前の例による。

別表第1 教育課程表

研究科各専攻の授業科目、研究指導分野、単位および履修方法

(1) 薬学研究科

医療薬学専攻

博士課程

研究科専門課程	専攻分野	授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
薬学研究科	医療薬学専攻	臨床薬学	臨床分析学特論		2		
			臨床生化学特論		2		
			臨床病態学特論		2		
			臨床症候学特論		2		
			臨床薬理学特論		2		
			薬物療法学特論		2		
			医薬品管理学特論		2		
			臨床漢方医療薬学特論		2		
			精神医療薬学特論		2		
			薬学教育学特論		2		
			臨床薬学演習		6		
	健康薬学	公衆衛生学特論		2			
		食品安全学特論		2			
		感染予防医療薬学特論		2			
		健康薬学演習		6			
医薬品開発学	医薬品化学特論		2				
	製剤学特論		2				
	薬物動態学特論		2				
	臨床統計学特論		2				
	医薬品開発学演習		6				
各分野共通	先端薬学研究特論		2				
	医療薬学特別研究		12				
	計		14	52			

履修方法

医療薬学特別研究12単位、先端薬学研究特論2単位および主たる専攻分野の演習6単位を含め合計30単位を修得し、かつ、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。

(2) 理工学研究科

イ 社会開発工学専攻

博士前期課程

研究科専門課程	専攻分野等	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
理工学研究科 社会開発工学専攻	基礎科目	応用数学特論Ⅰ		2		
		応用数学特論Ⅱ		2		
		数理統計学		2		
		力学特論		2		
		量子物理学		2		
	計画系	空間情報学特論		2		
		形態幾何学特論		2		
		コミュニティデザイン特論		2		
		住環境計画特論		2		
		空間デザイン特論		2		
		住環境デザイン史特論		2		
		建築計画特論		2		
		都市建築史特論		2		
		建築環境造形特論		2		
		都市地域計画特論		2		
		意匠設計演習		2		
	環境系	水環境工学特論		2		
		環境水理学特論		2		
		沿岸環境工学特論		2		
		温熱環境特論		2		
		サステナブル建築環境特論		2		
		居住環境工学特論		2		
		環境心理生理特論		2		
		建築設備計画特論		2		
設備設計演習			2			
構造系	建設施工システム特論		2			
	建築耐風構造特論		2			
	鉄筋コンクリート構造特論		2			
	防災工学特論		2			
	基礎工学特論		2			
	地盤工学特論		2			
	鋼構造工学特論		2			
	施設構造工学特論		2			
	構造設計演習		2			
	専攻分野共通科目	建築設計インターンシップⅠ		4		
建築設計インターンシップⅡ			1			
ゼミナール		4				
理工学特別研究		8				
計		12	73			

履修方法

- 1 必修科目12単位および選択科目18単位以上、総計30単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出して最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、理工学研究科履修規定に定める。

ロ 生産開発工学専攻

博士前期課程

研究科専門 課程	専攻分野等	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
理工 学研 究科	生産 開発 工学 専攻	基礎科目	応用数学特論Ⅰ		2	
			応用数学特論Ⅱ		2	
			数理統計学		2	
			力学特論		2	
			量子物理学		2	
		生産工学系	生産システム特論		2	
			生産加工学特論		2	
			システム制御特論		2	
		機械工学系	材料力学特論		2	
			機械力学特論		2	
			熱工学特論		2	
			流体機械特論		2	
			流体力学特論		2	
			熱物性工学特論		2	
			個体力学特論		2	
			ナノマイクロシステム特論		2	
		電気電子工学系	エネルギーシステム工学特論		2	
	医用生体工学特論			2		
	知能ロボット特論			2		
	画像情報工学特論			2		
	電子・イオンビーム工学特論			2		
	無線通信工学特論			2		
	光物性工学特論			2		
	電子物性工学特論			2		
	固体物理学特論			2		
	光デバイス特論			2		
	ネットワーク工学特論			2		
	計測工学特論			2		
	分散システム特論			2		
	数理工学特論		2			
	専攻分野共通科目	ゼミナール	4			
		理工学特別研究	8			
	計		12	60		

履修方法

- 1 必修科目12単位および選択科目18単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出して最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、理工学研究科履修規定に定める。

ハ 生命科学専攻

博士前期課程

研究科専門課程	専攻分野等	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
理工学研究科	生命科学専攻	基礎科目	分子生物学	2		
			細胞生物学	2		
	分子生命科学系	分子細胞生物学特論	2			
		タンパク質機能学特論	2			
		特殊環境微生物学特論	2			
		構造生命科学特論	2			
		細胞解析学特論	2			
		環境遺伝子工学特論	2			
	生体生命科学系	神経生物学特論	2			
		細胞制御学特論	2			
		生体制御学特論	2			
		生体機能利用学特論	2			
個体ゲノム制御学特論		2				
専攻分野共通科目	分子生命科学トピックス	2				
	生体生命科学トピックス	2				
	ゼミナール	4				
	理工学特別研究	8				
	計		16	28		

履修方法

- 1 必修科目16単位および選択科目14単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出して最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、理工学研究科履修規定に定める。

ニ 創生工学専攻

博士後期課程

研究科専門課程	専攻分野	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
理工学研究科	創生工学専攻	都市・建築創生領域	都市空間情報学演習	2		
		環境地盤工学演習	2			
		鉄筋コンクリート構造学演習	2			
		応用構造材料学演習	2			

		環境空間デザイン学演習		2		
		環境工学演習		2		
		建築耐風構造学演習		2		
	人工物創生領域	固体表面分析演習		2		
		燃料電池材料学演習		2		
		システム最適化演習		2		
		生体情報工学演習		2		
		無線通信工学演習		2		
		構造強度評価学演習		2		
		熱物性工学演習		2		
		流体力学演習		2		
		知能ロボット演習		2		
		光物性工学演習		2		
		放射光物性工学演習		2		
	特別研究		12			
	計		12	36		

#### 履修方法

- 1 必修科目12単位および選択科目10単位以上、合計22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、理工学研究科履修規定に定める。

#### ホ 生命科学専攻

##### 博士後期課程

研究科専門課程	専攻分野	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
理工学研究科	生命科学専攻	生命機能解析利用学分野専門科目	分子細胞発生学演習	2		
		分子機能解析学演習	2			
		ゲノム制御生物学演習	2			
		微生物機能利用学演習	2			
		分子機能利用学演習	2			
		イオン伝達物質学演習	2			
		分子細胞生理学演習	2			
		分子生態学演習	2			
		専攻分野共通科目	生命機能解析利用学実習	2		
		特別研究	12			
計		14	16			

#### 履修方法

- 1 必修科目14単位および選択科目8単位以上、合計22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、理工学研究科履修規定に定める。

#### (3) 経済経営学研究科

イ 経済学専攻

修士課程

研究科専門課程	専攻分野	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
経済経営学研究科	国際経済領域	国際経済特論		2		
		国際協力特論		2		
		国際資源・環境経済特論		2		
		国際企業経営特論		2		
		国際マクロ経済学特論		2		
		国際経済総合演習Ⅰ		2		
		国際経済総合演習Ⅱ		2		
		国際経済総合演習Ⅲ		2		
	国際経済総合演習Ⅳ		2			
	地域経済領域	地域経済特論		2		
		中小企業特論		2		
		地域情報システム特論		2		
		地域保健医療特論		2		
		地域経済総合演習Ⅰ		2		
		地域経済総合演習Ⅱ		2		
		地域経済総合演習Ⅲ		2		
		地域経済総合演習Ⅳ		2		
	観光経済領域	観光産業特論		2		
		レジャー産業特論		2		
		サービス・マネジメント特論		2		
		観光経済総合演習Ⅰ		2		
		観光経済総合演習Ⅱ		2		
		観光経済総合演習Ⅲ		2		
	経済学基礎理論領域	観光経済総合演習Ⅳ		2		
		経済思想史特論		2		
		社会経済学特論		2		
		計量経済学特論		2		
		理論経済学特論		2		
		経済学基礎理論総合演習Ⅰ		2		
		経済学基礎理論総合演習Ⅱ		2		
		経済学基礎理論総合演習Ⅲ		2		
	経済学基礎理論総合演習Ⅳ		2			
		計		64		

履修方法

- 1 演習科目8単位および特論科目22単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出し最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、経済経営学研究科履修規定に定め

る。

ロ 経営学専攻

修士課程

研究科専門課程	専攻分野	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
経済経営学研究科	企業経営領域	経営戦略特論		2		
		経済経営史特論		2		
		経営管理特論		2		
		人的資源管理特論		2		
		技術経営特論		2		
		経営組織特論		2		
		マーケティング特論		2		
		ベンチャービジネス特論		2		
		流通システム特論		2		
		企業経営総合演習Ⅰ		2		
		企業経営総合演習Ⅱ		2		
		企業経営総合演習Ⅲ		2		
		企業経営総合演習Ⅳ		2		
		会計領域	財務諸表特論		2	
	会計情報特論			2		
	税務会計特論			2		
	管理会計特論			2		
	原価計算特論			2		
	企業金融特論			2		
	会計総合演習Ⅰ			2		
	会計総合演習Ⅱ			2		
	会計総合演習Ⅲ			2		
	会計総合演習Ⅳ			2		
	経営情報領域	情報デザイン特論		2		
		マネジメントサイエンス特論		2		
		マーケティングサイエンス特論		2		
		メディア戦略特論		2		
		ビジネスシミュレーション特論		2		
		経営情報システム特論		2		
		社会調査特論		2		
		経営情報総合演習Ⅰ		2		
		経営情報総合演習Ⅱ		2		
		経営情報総合演習Ⅲ		2		
	経営情報総合演習Ⅳ		2			
		計		68		

履修方法

- 1 演習科目8単位および特論科目22単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、修士論

文を提出し最終試験を受けるものとする。

2 前項のほか、履修の方法および要件等については、経済経営学研究科履修規定に定める。

(4) 法学研究科

法律学専攻

修士課程

研究科専門課程	専攻分野	授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
法学研究科 法律学専攻	公法系	法律学特論Ⅰ		2			
		法律学特論Ⅱ		2			
		法哲学特論Ⅰ		2			
		法哲学特論Ⅱ		2			
		法制史特論Ⅰ		2			
		法制史特論Ⅱ		2			
		憲法特論Ⅰ		2			
		憲法特論Ⅱ		2			
		行政法特論Ⅰ		2			
		行政法特論Ⅱ		2			
		スポーツ法特論Ⅰ		2			
		スポーツ法特論Ⅱ		2			
		租税法特論Ⅰ		2			
		租税法特論Ⅱ		2			
		刑法特論Ⅰ		2			
		刑法特論Ⅱ		2			
		刑事訴訟法特論Ⅰ		2			
		刑事訴訟法特論Ⅱ		2			
		国際法特論Ⅰ		2			
		国際法特論Ⅱ		2			
		法制史特論演習Ⅰ			4		
		法制史特論演習Ⅱ			4		
		憲法特論演習Ⅰ			4		
		憲法特論演習Ⅱ			4		
		行政法特論演習Ⅰ			4		
		行政法特論演習Ⅱ			4		
		スポーツ法特論演習Ⅰ			4		
		スポーツ法特論演習Ⅱ			4		
		租税法特論演習Ⅰ			4		
		租税法特論演習Ⅱ			4		
		刑法特論演習Ⅰ			4		
		刑法特論演習Ⅱ			4		
		刑事訴訟法特論演習Ⅰ			4		
		刑事訴訟法特論演習Ⅱ			4		

		國際法特論演習 I	4		
		國際法特論演習 II	4		
	私法系	民法特論 I	2		
		民法特論 II	2		
		民法特論 III	2		
		民法特論 IV	2		
		民法特論 V	2		
		民法特論 VI	2		
		民法特論 VII	2		
		民法特論 VIII	2		
		企業法特論 I	2		
		企業法特論 II	2		
		企業法特論 III	2		
		企業法特論 IV	2		
		民事訴訟法特論 I	2		
		民事訴訟法特論 II	2		
		勞働法特論 I	2		
		勞働法特論 II	2		
		國際私法特論 I	2		
		國際私法特論 II	2		
		民法特論演習 I	4		
		民法特論演習 II	4		
		民法特論演習 III	4		
		民法特論演習 IV	4		
		企業法特論演習 I	4		
		企業法特論演習 II	4		
		企業法特論演習 III	4		
		企業法特論演習 IV	4		
		民事訴訟法特論演習 I	4		
		民事訴訟法特論演習 II	4		
		勞働法特論演習 I	4		
		勞働法特論演習 II	4		
		國際私法特論演習 I	4		
		國際私法特論演習 II	4		
	政治系	政治学特論 I	2		
		政治学特論 II	2		
		行政学特論 I	2		
		行政学特論 II	2		
		政治史特論 I	2		
		政治史特論 II	2		
		國際關係特論 I	2		
		國際關係特論 II	2		
		地域政策特論 I	2		
		地域政策特論 II	2		
		政治学特論演習 I	4		

		政治学特論演習Ⅱ	4		
		行政学特論演習Ⅰ	4		
		行政学特論演習Ⅱ	4		
		政治史特論演習Ⅰ	4		
		政治史特論演習Ⅱ	4		
		国際関係特論演習Ⅰ	4		
		国際関係特論演習Ⅱ	4		
		地域政策特論演習Ⅰ	4		
		地域政策特論演習Ⅱ	4		
	計		256		

#### 履修方法

- 1 演習科目8単位以上(指導教員の担当する演習ⅠおよびⅡを含む)および演習科目を除く選択科目から11科目22単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出し最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、法学研究科履修規定に定める。

#### (5) 国際言語文化研究科

##### 国際言語文化専攻

##### 修士課程

研究科専門課程	専攻区分	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
国際言語文化研究科	国際言語文化専攻	欧米言語文化研究領域	英米言語文化特論ⅠA	2		
			英米言語文化特論ⅠB	2		
			英米言語文化特論ⅡA	2		
			英米言語文化特論ⅡB	2		
			英米言語文化特論ⅢA	2		
			英米言語文化特論ⅢB	2		
			英米言語文化特論ⅣA	2		
			英米言語文化特論ⅣB	2		
			英米言語文化特論ⅤA	2		
			英米言語文化特論ⅤB	2		
			英米言語文化特論ⅥA	2		
			英米言語文化特論ⅥB	2		
			英米言語文化特論ⅦA	2		
			英米言語文化特論ⅦB	2		
			英米言語文化特論ⅧA	2		
			英米言語文化特論ⅧB	2		
			欧米地域文化特論ⅠA	2		
			欧米地域文化特論ⅠB	2		
			欧米地域文化特論ⅡA	2		
			欧米地域文化特論ⅡB	2		
欧米地域文化特論ⅢA	2					

		欧米地域文化特論ⅢB	2	
		欧米地域文化特論ⅣA	2	
		欧米地域文化特論ⅣB	2	
		欧米言語文化研究総合演習Ⅰ	2	
		欧米言語文化研究総合演習Ⅱ	2	
		欧米言語文化研究総合演習Ⅲ	2	
		欧米言語文化研究総合演習Ⅳ	2	
	アジア言語文化研究領域	アジア言語文化特論ⅠA	2	
		アジア言語文化特論ⅠB	2	
		アジア言語文化特論ⅡA	2	
		アジア言語文化特論ⅡB	2	
		アジア言語文化特論ⅢA	2	
		アジア言語文化特論ⅢB	2	
		アジア言語文化特論ⅣA	2	
		アジア言語文化特論ⅣB	2	
		アジア言語文化特論ⅤA	2	
		アジア言語文化特論ⅤB	2	
		アジア言語文化特論ⅥA	2	
		アジア言語文化特論ⅥB	2	
		アジア地域文化特論ⅠA	2	
		アジア地域文化特論ⅠB	2	
		アジア地域文化特論ⅡA	2	
		アジア地域文化特論ⅡB	2	
		アジア地域文化特論ⅢA	2	
		アジア地域文化特論ⅢB	2	
		アジア地域文化特論ⅣA	2	
		アジア地域文化特論ⅣB	2	
		アジア地域文化特論ⅤA	2	
		アジア地域文化特論ⅤB	2	
		アジア言語文化研究総合演習Ⅰ	2	
		アジア言語文化研究総合演習Ⅱ	2	
		アジア言語文化研究総合演習Ⅲ	2	
		アジア言語文化研究総合演習Ⅳ	2	
	共通科目	上級英語Ⅰ	1	
		上級英語Ⅱ	1	
		上級中国語Ⅰ	1	
		上級中国語Ⅱ	1	
		上級スペイン語Ⅰ	1	
		上級スペイン語Ⅱ	1	
		上級インドネシア・マレー語Ⅰ	1	
		上級インドネシア・マレー語Ⅱ	1	
		国際政治特論Ⅰ	2	
		国際政治特論Ⅱ	2	
		国際経済特論Ⅰ	2	
		国際経済特論Ⅱ	2	

		異文化理解 I		2	
		異文化理解 II		2	
	計			128	

#### 履修方法

- 1 専攻する研究領域の授業科目の中から指導教員の担当する演習科目4科目8単位、専攻する研究領域および専攻する研究領域以外の授業科目の中から講義科目8科目16単位(ただし、専攻する研究領域以外の授業科目の単位修得は2科目4単位以上4科目8単位までの計24単位以上、共通科目の授業科目の中から「上級英語 I・II」、「上級中国語 I・II」、「上級スペイン語 I・II」、または「上級インドネシア・マレー語 I・II」のいずれか2科目2単位を含め4科目6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出し最終試験を受けるものとする。
- 2 研究科長が認めた場合は、第16条により履修した他研究科の授業科目の修得単位を上記共通科目の単位数に含めることができる。ただし、最大4単位までとする。
- 3 前2項のほか、履修の方法および要件等については、国際言語文化研究科履修規定に定める。

#### (6) 看護学研究科

##### イ 看護学専攻

##### 博士前期課程

研究科専門課程	専攻分野等			授業科目	単位数			備考	
					必修	選択	自由		
看護学研究科	看護学専攻	共通科目			看護学研究	2			
					多職種連携演習		2		
					臨床看護倫理		1		
					フィジカルアセスメント特論		2		
					臨床推論特論		2		
					薬物治療学特論		2		
					医療経済特論		2		
					地域医療防災演習		1		
					看護人間工学特論		2		
					看護教育特論		2		
		疫学・保健統計学特論	2						
		国際保健学特論	1						
		専門科目	基盤・療養支援看護学領域	基盤実践看護学分野	基盤実践看護学特論			2	
基盤実践看護学演習					2				
基盤実践看護学援助特論					2				
専門科目	療養支援看護学分野	療養支援看護学分野	療養支援看護学特論		2				
			療養支援看護学演習		2				
			療養支援看護学援助特論		2				

	地域・次世代 発達支援看護学領域	地域支援看護学分野	地域支援看護学特論 地域支援看護学演習 地域支援看護学援助特論		2 2 2		
		次世代発達支援看護学分野	次世代発達支援看護学特論 次世代発達支援看護学演習 次世代発達支援看護学援助特論		2 2 2		
	研究科目		看護学特別研究	8			
	計			10	43		

#### 履修方法

- 専攻する研究領域の授業科目のうち、基盤実践、療養支援、地域支援および次世代発達支援のいずれかの専攻分野から看護学特論、看護学演習、看護学援助特論の各2単位、および共通科目の看護学研究2単位を含む16単位、看護学特別研究8単位、合計30単位以上を修得すること。なお、専攻する研究分野以外の授業科目(共通科目、看護学特別研究を除く)を修得した場合、2単位までを共通科目とみなし、修了に必要な単位数に含める。
- 本研究科の教育研究上の基本理念や目的に沿った指導のもと修士論文の作成に取り組み、修士論文の審査および最終試験を受けるものとする。

#### ロ 看護学専攻

##### 博士後期課程

研究科専門課程	専攻分野等	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
看護学研究科	看護学専攻	共通科目	看護学研究方法特論	2		
			看護実践応用特論	1		
	専門科目	基盤・療養支援看護学領域	基盤・療養支援看護学特論		2	
			基盤・療養支援看護学演習		2	
		地域・次世代発達支援看護学領域	地域・次世代発達支援看護学特論		2	
			地域・次世代発達支援看護学演習		2	
	研究科目	特別研究	12			
	計		15	8		

#### 履修方法

- 専攻する研究領域の看護学特論、看護学演習の各2単位、および共通科目3単位、特別研究12単位、合計19単位以上を修得すること。
- 本研究科の教育研究上の基本理念や目的に沿った指導のもと博士論文の作成に取り組み、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。

## (7) 農学研究科

## イ 農学専攻

## 博士前期課程

研究科専門課程	専攻分野等	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
農学研究科	農学専攻 共通科目	食農科学特論A	2			
		食農科学特論B		2		
		コミュニケーション英語		1		
		サイエンスプレゼンテーション演習		1		
		アグリビジネス論		1		
		アグリデータ解析特論		1		
	農業生産科学領域	生産生態基盤学特論		2		
		作物科学特論		2		
		園芸科学特論		2		
		応用昆虫学特論		2		
		植物病理学特論		2		
		植物遺伝育種科学特論		2		
		農業生産科学演習Ⅰ		4		
	農業生産科学演習Ⅱ		4			
	応用生物科学領域	植物分子生理学特論		2		
		ゲノム生物学特論		2		
		植物環境微生物学特論		2		
		応用微生物学特論		2		
		動物機能科学特論		2		
		海洋生物学特論		2		
応用生物科学演習Ⅰ			4			
応用生物科学演習Ⅱ		4				
食品栄養科学領域	食品学・食品衛生学特論		2			
	調理・給食経営管理特論		2			
	代謝栄養学特論		2			
	臨床栄養学特論		2			
	公衆衛生・公衆栄養学特論		2			
	生化学・運動生理学特論		2			
	食品栄養科学演習Ⅰ		4			
食品栄養科学演習Ⅱ		4				
食農ビジネス学領域	農業経済・経営・政策特論		2			
	食品産業・流通特論		2			
	地域マネジメント特論		2			
	食農・循環型農業特論		2			
	食品マーケティング特論		2			
	都市・農村コミュニティビジネス特論		2			
	食農ビジネス学演習Ⅰ		4			
食農ビジネス学演習Ⅱ		4				

	特別研究科目	農学特別研究Ⅰ	4			
		農学特別研究Ⅱ	4			
	計		10	86		

#### 履修方法

- 1 必修科目10単位および選択科目20単位以上(共通科目から4単位以上、専門領域の講義科目4単位以上、専門領域の演習科目8単位を含む)、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、農学研究科履修規定に定める。

#### ロ 農学専攻

##### 博士後期課程

研究科専門課程	専攻分野等	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
農学 研究科 農学 専攻科	講義科目	食農科学特別講義	2			
	演習科目	農業生産科学特別演習		8		
		応用生物科学特別演習		8		
		食品栄養科学特別演習		8		
		食農ビジネス学特別演習		8		
特別研究		12				
計		14	32			

#### 履修方法

- 1 必修科目14単位および選択科目8単位以上、合計22単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。
- 2 前項のほか、履修の方法および要件等については、農学研究科履修規定に定める。

#### 別表第2 学費

各研究科の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

研究科	課程	科目	入学金(入学時納入)	授業料(年額)	教育充実費(年額)
薬学研究科	博士課程		220,000	800,000	—
理工学研究科	博士前期課程		150,000	1,020,000	—
	博士後期課程		220,000	960,000	—
経済経営学研究科	修士課程		150,000	720,000	—
法学研究科	修士課程		150,000	720,000	—
国際言語文化研究	修士課程		150,000	740,000	—

科				
看護学研究科	博士前期課程	150,000	540,000	120,000
	博士後期課程	220,000	540,000	120,000
農学研究科	博士前期課程	150,000	830,000	120,000
	博士後期課程	220,000	780,000	120,000

学費の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがある。

別表第3 在籍料

(単位：円)

研究科	前期	後期
薬学研究科	60,000	60,000
理工学研究科		
経済経営学研究科		
法学研究科		
国際言語文化研究科		
看護学研究科		
農学研究科		

## 変更事項を記載した書類

### I. 変更の事由

摂南大学大学院看護学研究科の課程変更に伴い、関連条文を改める。

### II. 主な変更点

- (1) 各条文の看護学研究科看護学専攻修士課程を博士前期課程に変更する。
- (2) 第4条第1項に看護学研究科看護学専攻博士後期課程を追加する。
- (3) 第4条第11項の看護学研究科看護学専攻の教育研究上の目的を変更する。
- (4) 第7条の看護学研究科看護学専攻博士前期課程の定員を変更するとともに、博士後期課程の定員を追加する。
- (5) 第15条の2第2項に看護学研究科看護学専攻博士前期課程の免許状の種類・免許教科を追加する。
- (6) 第21条第4項に看護学研究科看護学専攻博士後期課程の単位数を追加する。
- (7) 第24条第1項に看護学研究科看護学専攻博士後期課程の学位を追加する。
- (8) 別表第1「教育課程表」の(6)看護学研究科看護学専攻博士前期課程の専門分野・授業科目等の修正並びに博士後期課程を追加する。
- (9) 別表第2「学費」に看護学研究科看護学専攻博士後期課程の学費を追加する。

以 上

## 変更部分の新旧対照表

改正案					現行(2025年3月改正)				
○摂南大学大学院学則 昭和63年3月23日 学園104					○摂南大学大学院学則 昭和63年3月23日 学園104				
第1条～第3条 現行どおり					第1条～第3条 省略				
第4条 本大学院につきの研究科を置き、専攻を設ける。					第4条 本大学院につきの研究科を置き、専攻を設ける。				
研究科名		専攻名		課程	研究科名		専攻名		課程
現行どおり					省略				
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程			看護学研究科	看護学専攻	修士課程		
		博士後期課程							
現行どおり					省略				
2～10 現行どおり					2～10 省略				
11 看護学研究科看護学専攻は、看護のあらゆる場において、地域社会の在り方や文化を踏まえた上で、多様な人々と協働して多様化、複雑化したこれからの社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。					11 看護学研究科看護学専攻は、地域社会で生活する人々を支援する看護実践者および研究能力を基盤とした看護教育者を育成することを目的とする。				
12 現行どおり					12 省略				
第5条～第6条 現行どおり					第5条～第6条 省略				
第7条 本大学院の収容定員は、つぎのとおりとする。					第7条 本大学院の収容定員は、つぎのとおりとする。				
研究科名	専攻名	博士前期課程または 修士課程		博士後期課程または 薬学研究科博士課程		合計			
		入学	収容	入学	収容	収容			
		定員	定員	定員	定員	定員			
現行どおり					省略				
看護学 研究科	看護学専攻	4名	8名	2名	6名	14名			
現行どおり					省略				
合計		78名	156名	13名	43名	199名			
第8条～第14条 現行どおり					第8条～第14条 省略				
第15条 現行どおり					第15条 省略				
第15条の2 現行どおり					第15条の2 省略				
2 前項に定める免許状の種類および免許教科は、つぎのとおりとする。					2 前項に定める免許状の種類および免許教科は、つぎのとおりとする。				
研究科	専攻	免許状の種類		免許教科	研究科	専攻	免許状の種類		免許教科
現行どおり					省略				
看護学 研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	養護教諭専修免 許状		養護教 諭					
農学研 究科	農学専攻 (博士前期課程)	(イ) 中学校教 諭専修免許状 (ロ) 高等学校		理科	農学研 究科	農学専攻 (博士前期課程)	(イ) 中学校教 諭専修免許状 (ロ) 高等学校		理科

		教諭専修免許 状	
--	--	-------------	--

3 現行どおり

第16条～第20条 現行どおり

第21条 1～3 現行どおり

4 修了に必要な授業科目の単位数については、つぎのとおりとする。

区分		単位数
現行どおり		
博士後期課程	理工学研究科	22単位以上
	看護学研究科	19単位以上
	農学研究科	22単位以上
現行どおり		

第22条～第23条 現行どおり

第24条 第21条により本大学院の課程を修了した者には、つぎの学位を授与する。

研究科名	専攻名	課程	学位
現行どおり			
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程	修士(看護学)
		博士後期課程	博士(看護学)
現行どおり			

2～3 現行どおり

第25条～第56条 現行どおり

付 則

1～2 現行どおり

3

イ この改正学則は、2026年4月1日から施行する。

ロ～へ 現行どおり

ト 看護学研究科の2025年度以前の入学者にかかる授業科目、研究指導分野、単位および履修方法については、なお従前の例による。

チ 2019年度以前の入学者の学費の金額については、なお従前の例による。

別表第1 教育課程表

研究科各専攻の授業科目、研究指導分野、単位および履修方法

(1)～(5) 現行どおり

		教諭専修免許 状	
--	--	-------------	--

3 省略

第16条～第20条 省略

第21条 1～3 省略

4 修了に必要な授業科目の単位数については、つぎのとおりとする。

区分		単位数
省略		
博士後期課程	理工学研究科	22単位以上
	農学研究科	
省略		

第22条～第23条 省略

第24条 第21条により本大学院の課程を修了した者には、つぎの学位を授与する。

研究科名	専攻名	課程	学位
省略			
看護学研究科	看護学専攻	修士課程	修士(看護学)
省略			

2～3 省略

第25条～第56条 省略

付 則

1～2 省略

3

イ この改正学則は、2025年4月1日から施行する。

ロ～へ 省略

ト 2019年度以前の入学者の学費の金額については、なお従前の例による。

別表第1 教育課程表

研究科各専攻の授業科目、研究指導分野、単位および履修方法

(1)～(5) 省略

## (6) 看護学研究科

Ⅰ 看護学専攻  
博士前期課程

研究 科専 門課 程	専攻分野等	授業科目	単位数			備 考	
			必 修	選 択	自 由		
看護学 専攻 研究 科	共通科目	看護学研究 (削除)	2				
		多職種連携演習		2			
		臨床看護倫理		1			
		フィジカルアセスメント特論 (削除)		2			
		臨床推論特論		2			
		薬物治療学特論		2			
		現行どおり					
		看護教育特論 (削除) (削除)		2			
		疫学・保健統計学特論		2			
		国際保健学特論		1			
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
		(削除)					
	専 門 科 目	基盤・ 療養支 援看護 学領域	基盤実 践看護 学分野	基盤実践看護学特論	2		
				基盤実践看護学演習	2		
			療養支 援看護 学分野	基盤実践看護学援助特論	2		
				療養支援看護学特論	2		
		地域・ 次世代 発達支 援看護 学領域	地域支 援看護 学分野	療養支援看護学演習	2		
				療養支援看護学援助特論	2		
		地域支 援看護 学分野	地域支援看護学特論	2			
			地域支援看護学演習	2			
		次世代 発達支 援看護 学分野	地域支援看護学援助特論	2			
			地域支援看護学特論	2			
	次世代 発達支 援看護 学分野	次世代発達支援看護学特論	2				
		次世代発達支援看護学演習	2				
	次世代 発達支 援看護 学分野	次世代発達支援看護学援助特論	2				
		次世代発達支援看護学特論	2				
研究科目	看護学特別研究	8					
計		10	43				

## 履修方法

- 専攻する研究領域の授業科目のうち、基盤実践、療養支援、地域支援および次世代発達支援のいずれかの専攻分野から看護学特論、看護学演習、看護学援助特論の各2単位、および共通科目の看護学研究2単位を含む16単位、看護学特別研究8単位、合計

## (6) 看護学研究科

看護学専攻  
修士課程

研究 科専 門課 程	専攻分野等	授業科目	単位数			備 考	
			必 修	選 択	自 由		
看護学 専攻 研究 科	共通科目	看護学研究 チーム医療演習	2				
		臨床看護倫理		2			
		臨床看護倫理		1			
		フィジカルアセスメント特論		2			
		疾病・病態特論		2			
		薬物治療学特論		2			
		省略					
		看護教育特論		2			
		看護教育方法演習		2			
		看護現任教育特論		2			
	地域・療養 支援看護学 領域	地域・療養支援看護学特論		2			
		地域・療養支援看護学演習		2			
		地域・療養支援看護学援助特論		2			
	健康発達支 援看護学領 域	健康発達支援看護学特論		2			
		健康発達支援看護学演習		2			
		健康発達支援看護学援助特論		2			
特別研究		8					
計		10	32				

## 履修方法

- 専攻する研究領域の授業科目のうち、地域・療養支援、健康発達支援のいずれかの看護学特論、看護学演習、看護学援助特論の各2単位、および共通科目の看護学研究2単位を含む16単位、特別研究8単位、合計30単位以上を修得すること。なお、専攻す

30単位以上を修得すること。なお、専攻する研究分野以外の授業科目(共通科目、看護学特別研究を除く)を修得した場合、2単位までを共通科目とみなし、修了に必要な単位数に含める。

2 現行どおり

ロ 看護学専攻

博士後期課程

研究 科専 門課 程	専攻分野等	授業科目	単位数			備 考
			必 修	選 択	自 由	
看 護 学 研 究 科 目 社	共通科目	看護学研究方法特論	2			
		看護実践応用特論	1			
	専 門 科 目	基盤・療養支援看護学領域 基盤・療養支援看護学特論		2		
		基盤・療養支援看護学領域 基盤・療養支援看護学演習		2		
	地 域 ・ 次 世 代 発 達 支 援 看 護 学 研 究 科 目 社	地域・次世代発達支援看護学特論		2		
		地域・次世代発達支援看護学演習		2		
	研究科目	特別研究	12			
計		15	8			

履修方法

- 専攻する研究領域の看護学特論、看護学演習の各2単位、および共通科目3単位、特別研究12単位、合計19単位以上を修得すること。
- 本研究科の教育研究上の基本理念や目的に沿った指導のもと博士論文の作成に取り組み、博士論文の審査および最終試験を受けるものとする。

(7) 現行どおり

別表第2 学費

各研究科の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

研究科	科目	入学金(入 学時納入)	授業料 (年額)	教育充実 費(年額)
現行どおり				
看護学研究 科	博士前期 課程	150,000	540,000	120,000
	博士後期 課程	220,000	540,000	120,000
	課程			
現行どおり				

学費の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがある。

別表第3 現行どおり

る研究領域以外の授業科目(共通科目、特別研究を除く)を修得した場合、2単位までを共通科目とみなし、修了に必要な単位数に含める。

2 省略

(7) 省略

別表第2 学費

各研究科の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

研究科	科目	入学金(入 学時納入)	授業料 (年額)	教育充実 費(年額)
省略				
看護学研究 科	修士課程	150,000	540,000	120,000
省略				

学費の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがある。

別表第3 省略

○摂南大学大学院看護学研究科委員会規定（案）

2016年3月8日

学園289

改正 2026年4月1日

（趣旨）

第1条 摂南大学大学院学則第12条および組織規定第72条第1項に定める摂南大学大学院看護学研究科委員会(以下「委員会」という)について、必要な事項を定める。

（組織）

第2条 委員会は、つぎの者をもって組織する。

- イ 看護学研究科長(以下「研究科長」という)
- ロ 看護学研究科指導教授
- ハ その他研究科長が指名した者

2 博士前期課程担当教員の資格審査および修士学位授与の決定のための研究科委員会はつぎの者をもって構成する。

- イ 研究科長
- ロ 看護学研究科博士前期課程指導教授

3 博士後期課程担当教員の資格審査および博士学位授与の決定のための研究科委員会はつぎの者をもって構成する。

- イ 研究科長
- ロ 看護学研究科博士後期課程指導教授

4 第1項ハ号の委員の任期は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

（審議事項）

第3条 委員会は、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

- イ 学生の入学および課程の修了に関すること
- ロ 学位の授与に関すること
- ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、委員会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの

2 委員会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

（報告事項）

第4条 研究科長は、委員会に組織規定第72条第1項に定める大学・大学院運営会議および

各委員会で審議された、看護学研究科に関する事項を報告するものとする。

(会議)

第5条 委員会は、研究科長が召集し、その議長となる。

2 研究科長に事故があるときは、あらかじめ研究科長の指名した委員が議長の職務を代行する。

(定足数および表決)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席委員の過半数の同意をもって議決する。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 前項にかかわらず、大学院担当教員の審査および学位授与の決定には、そのための構成員の3分の2以上が出席し、その議決には出席者の3分の2以上の同意を要する。

3 前項による博士の学位の授与または取消しに関する議決は、無記名投票による。

4 つぎの各号のいずれかに該当する者は、第1項および第2項の員数の計算に加えない。

イ 休職者

ロ 海外出張者

ハ 長期欠勤等のため委員会に出席できない者

ニ 次条に定める出席者

(委員以外の出席)

第7条 研究科長は、必要に応じ委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(議題の事前提出)

第8条 委員会の議題は、あらかじめ看護学研究科の事務室を経て研究科長に提出するものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、看護学研究科の事務室で行う。

(運営細則)

第10条 この規定に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て研究科長が定める。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2016年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2026年4月1日から施行する。